

タイ人日本語学習者の漢字学習に対する
ビリーフとストラテジー使用

ソムチャイ チャイヤケッタナン

チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科日本語講座
チュラーロンコーン大学・修士課程

2008年10月
チュラーロンコーン大学

นายสมชาย ไชยเขตรนัง: ความเชื่อและกลยุทธ์ในการเรียนคันจิของผู้เรียนชาวไทย.

อ.ที่ปริกษาสารนิพนธ์ : ดร.ระเอวโกะ อิมิยะฉิ, ดร.เอะอิจิ นะกะยะมะ

จำนวนหน้า 48 หน้า.

งานวิจัยด้านการเรียนคันจิในเมืองไทยนั้นยังมีจำนวนน้อย ดังนั้นการที่จะปรับปรุงการเรียนคันจิให้ดียิ่งขึ้น จึงจำเป็นต้องสำรวจสภาพการเรียนก่อน งานวิจัยนี้ได้ทำการสำรวจความเชื่อและกลยุทธ์ในการเรียนคันจิซึ่งถือเป็นเบื้องหลังของสภาพการเรียน อีกทั้งยังได้นำผลลัพธ์ที่ได้ไปเปรียบเทียบกับความเชื่อและกลยุทธ์ในการเรียนของผู้เรียนชาวฟิลิปปินส์ด้วย

กลุ่มเป้าหมายในการสำรวจคือผู้เรียนชาวไทยในมหาวิทยาลัยและผู้เรียนในโรงเรียนสอนภาษาญี่ปุ่น ผลลัพธ์ที่ได้ชี้ชัดว่าโดยรวมแล้วผู้เรียนทั้งสองกลุ่มมีแนวโน้มทางด้านความเชื่อและกลยุทธ์ในการเรียนไปในทิศทางเดียวกัน แต่ด้านการให้ความสำคัญของลำดับการเรียนคันจินั้นมีความแตกต่างคือ ผู้เรียนในมหาวิทยาลัยลำดับความสำคัญในการเรียนคันจิจากมากไปน้อยเป็น “ลำดับการเขียน” “เสียงอ่านแบบคุง” “เสียงอ่านแบบอง” และ “ความหมาย” ส่วนผู้เรียนในโรงเรียนสอนภาษาญี่ปุ่นลำดับความสำคัญในการเรียนคันจิจากมากไปน้อยเป็น “ความหมาย” “ลำดับการเขียน” “เสียงอ่านแบบคุง” และ “เสียงอ่านแบบอง” ตามลำดับ

สำหรับผลการเปรียบเทียบระหว่างผู้เรียนชาวไทยและงานวิจัยของฟิลิปปินส์นั้น พบว่าผู้เรียนของทั้งสองประเทศคาดหวังในตัวผู้สอนสูงมาก ผู้เรียนชาวไทยนั้นต้องการให้ผู้สอนสอนคันจิโดยละเอียด เช่นที่มาของคันจิ ฯลฯ และอยากให้ผู้สอนพลิกแพลงวิธีการสอน รวมทั้งมีความเชื่ออย่างยิ่งว่าอักษรคันจิจะช่วยในการคาดเดาความหมายของคำศัพท์ที่ไม่ทราบได้

ด้านผู้เรียนชาวฟิลิปปินส์พบว่า มีความชอบในการเรียนอ่านเขียนคันจิมากกว่าผู้เรียนชาวไทยเล็กน้อย และยังมีความเชื่ออย่างยิ่งว่าคันจิต้องเขียนให้สวย ส่วนกลยุทธ์ในการเรียนนั้น ผู้เรียนทั้งสองประเทศใช้กลยุทธ์ “การเรียนแบบรับรู้” มากที่สุด และในหมวดการเรียนแบบรับรู้นี้ กลยุทธ์ที่ใช้มากที่สุดของผู้เรียนชาวฟิลิปปินส์คือ “เขียนคันจิตัวใหม่ที่เรียนเข้าไปมาหลาย ๆ ครั้งเพื่อให้จำได้” ส่วนผู้เรียนชาวไทยใช้กลยุทธ์ “เขียนคำอ่าน furigana ที่ตัวคันจิที่ยังจำไม่ได้” สำหรับผลของความสัมพันธ์ในการใช้กลยุทธ์ในการเรียนคันจินั้น ชี้ชัดว่าผู้เรียนทั้งสองประเทศใช้กลยุทธ์ “การเรียนแบบเชื่อมโยง” ควบคู่ไปกับกลยุทธ์ “การเรียนแบบรับรู้” มากที่สุด

ภาควิชาภาษาตะวันออก.....

สาขาวิชาภาษาญี่ปุ่นเป็นภาษาต่างประเทศ.....

ปีการศึกษา 2551.....

ลายมือชื่อนิติ.....

ดร.ระเอวโกะ อิมิยะฉิ.....

ดร.เอะอิจิ นะกะยะมะ.....

ソムチャイ チャイヤケッタナン：タイ人日本語学習者の漢字
学習に対するビリーフとストラテジー使用。

アドバイザー：石橋 玲子博士， 中山 英治博士， 48 pp.

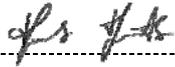
タイには漢字学習の研究はほとんど見られない。漢字学習をより改善するために、まず学習状況を調べる必要がある。本研究では学習状況のうち学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジーを探った。また、結果をフィリピン人学習者のビリーフとストラテジーと比較した。

調査対象者はタイ人大学生と日本語学校の学習者である。主な結果として、タイ人学習者は大学生でも日本語学校の学習者でも漢字学習に対してほとんど同様な傾向のビリーフを持ち、ストラテジーの使用も概ね似ていることが明らかになった。しかし、漢字の学習順序の大切さに関して、大学生は「書き順」が一番大切で、次に「訓読み」、「音読み」と「意味」であったが、日本語学校の学習者は「意味」が一番大切で、次に「書き順」、「訓読み」と「音読み」の順であった。

一方、タイ人学習者と先行研究のフィリピン人学習者との比較対照の結果に関しては、両国の学習者共に教師の役割に非常に期待していることがわかった。タイ人学習者については教師に詳しく語源や漢字についての情報を教えてもらいたい、指導の工夫もしてもらいたいというビリーフを持っており、漢字を利用して漢字熟語の意味の想像に使用できると強く思っている。

他方、フィリピン人学習者は漢字の読み書きがタイ人より好きであることがやや見られる。それに、漢字はきれいに書かなければならないというビリーフも強く持っている。ストラテジー使用については、両国の学習者共に「認知学習」ストラテジーを一番多く使用している。また、認知学習ストラテジーのうちフィリピン人学習者が最も使用しているストラテジーは「新しく習った漢字を覚えるためにそれを繰り返して書く」に対し、タイ人学習者は「よく知らない漢字に振り仮名を振る」ストラテジーを使用していた。漢字学習ストラテジーの相関の結果においては両国の学習者共に「連想学習」と「認知学習」との相関が最も高いことが明らかであった。

文学部東洋言語学科
日本語講座
学年度 2008

学生の署名： 
アドバイザー：
アドバイザー：

目次

	ページ
タイ語の要旨	
日本語の要旨	
1. はじめに.....	1
2. 先行研究.....	1
2.1 漢字学習に対するビリーフ.....	1
2.2 漢字学習に対するストラテジー.....	2
2.3 漢字学習に対するビリーフとストラテジー.....	2
3. 研究の目的.....	4
4. 研究の調査対象者.....	5
5. 研究方法.....	5
6. タイ人学習者の結果と考察.....	5
6.1 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用.....	5
6.1.1 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフ.....	5
6.1.1.1 大学生の結果（上位順）.....	7
6.1.1.2 日本語学校生の結果（上位順）.....	7
6.1.1.3 大学生と日本語学校生の結果の比較.....	8
6.1.2 タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジー使用.....	10
6.1.2.1 大学生の結果（上位順）.....	11
6.1.2.2 日本語学校生の結果（上位順）.....	11
6.1.2.3 大学生と日本語学校生の結果の比較.....	12
6.2 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジー領域の相関.....	14
6.2.1 大学生と日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関.....	14
6.2.2 大学生と日本語学校生の漢字学習に対するストラテジー間の相関.....	15
6.3 漢字学習に対する重要度順の比較.....	16
6.4 タイ人学習者の結果のまとめ.....	17
7. タイ人学習者とフィリピン人学習者の比較の結果と考察.....	18
7.1 タイ人・フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフ.....	18
7.1.1 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフ（上位 10 項目）.....	18
7.2 タイ人・フィリピン人学習者の漢字学習に対するストラテジー.....	22
7.2.1 タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジー（上位 10 項目）.....	22
7.3 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフと ストラテジー使用の比較のまとめ.....	26
7.3.1 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ビリーフの比較のまと.....	26
7.3.1.1 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ビリーフの特徴.....	26
7.3.1.2 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ビリーフの類似点.....	27
7.3.1.3 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ビリーフの相違点.....	27
7.3.2 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ストラテジー使用の比較のまとめ.....	28

7.3.2.1	タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ストラテジーの特徴.....	28
7.3.2.2	タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ストラテジーの類似.....	28
7.3.2.3	タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ストラテジーの相違点.....	29
7.4	タイ人・フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフと ストラテジー使用の相関関係.....	29
7.4.1	タイ人学習者の学習に対するビリーフの領域間の相関.....	29
7.5	タイ人学習者とフィリピン人学習者の比較の結果のまとめ.....	32
8.	終わりに.....	32
	注.....	32
	謝辞.....	34
	参考文献.....	35
	付録.....	37
	資料1：漢字学習に対するビリーフの質問項目と分類.....	38
	資料2：漢字学習に対するストラテジーの質問項目と分類.....	40
	資料3：漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用のアンケート.....	41
	資料4：タイ人用漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用のアンケート.....	46

表の目次

表		ページ
1	漢字学習に対するビリーフの7領域とその質問項目の例.....	3
2	漢字学習に対するストラテジーの5領域とその質問項目の例.....	4
3	漢字学習に対するビリーフの質問項目と領域.....	5
4	大学生と日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの平均値.....	8
5	漢字学習に対するストラテジー使用の質問項目と領域.....	10
6	大学生と日本語学校生の漢字学習に対するストラテジー使用の比較.....	12
7	大学生の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関係数.....	14
8	日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関係数.....	14
9	大学生の漢字学習に対するストラテジーの領域間の相関係数.....	15
10	日本語学校生の漢字学習に対するストラテジーの領域間の相関係数.....	15
11	大学生の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用の相関係数.....	16
12	日本が学校生の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用の相関係数.....	16
13	タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフ（上位10項目）N=197.....	18
14	フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフ（上位10項目） N=209.....	18
15	タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフ（下位10項目）N=197.....	20
16	フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフ（下位10項目） N=209.....	20
17	タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジー（上位10項目）.....	22
18	フィリピン人学習者の漢字学習に対するストラテジー（上位10項目）..	23
19	タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジー（下位10項目）.....	24
20	フィリピン人学習者の漢字学習に対するストラテジー（下位10項目）..	25
21	タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関係数.....	29
22	フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関係数....	30
23	タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジーの領域間の相関係数.....	30
24	フィリピン人学習者の漢字学習に対するストラテジーの領域間の相関係数.....	30
25	タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジーの相関係数....	31
26	フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジーの相関係数.....	31

図の目次

図		ページ
1	大学生の漢字学習に対するビリーフの平均値 N=96.....	7
2	日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの平均値 N=101.....	7
3	大学生と日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの平均値.....	9
4	大学生の漢字学習に対するストラテジー使用の平均値 N=96.....	11
5	日本語学校生の漢字学習に対するストラテジー使用の平均値 N=101.....	11
6	大学生と日本語学校生の漢字学習に対するストラテジー使用.....	13
7	タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフ.....	22
8	タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ストラテジー使用.....	26

1. はじめに

漢字学習はタイ人学習者にとっては非常に大きな負担である。しかし、タイにおける漢字学習の研究はあまりなされていない。したがって、現在行われている教授法がタイ人学習者に適切であるか否か不明である。漢字学習状況を深く理解するために、まず学習者のビリーフ及び学習ストラテジーを調べる必要があると考えられる。ところが、タイにおいては日本語の学習ストラテジーについての研究はされているが、漢字学習に対するビリーフを中心にする研究はほとんど見られない。それゆえ、本研究は学習者の漢字学習のビリーフを探り、またビリーフと使用するストラテジーが何らかの関連があると思われるので、同時に学習ストラテジーも調査し、ビリーフとストラテジーの相関関係を調べることを目的とする。さらに、先行研究のフィリピンにおける漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用との相関関係の研究結果と比較して、タイ国内の漢字学習に対するビリーフとストラテジーの類似点・相違点や特徴などを調べることにする。

2. 先行研究

2.1 言語学習に対するビリーフ

言語学習ビリーフの定義について、片桐（2005）は以下のように述べている。

言語学習 Belief(s)とは、言語（外国語）はどのように学習すべきか、言語学習はどのようなものであるかといった、言語学習に関しての意見、考え方、信念のことである。

また、言語学習に関するビリーフ調査では Horwitz（1987）によって初めて開発された BALLI (Beliefs About Language Learning Inventory) があり、BALLI は学習者と教師のビリーフ調査に広く使用されている。BALLI には 34 の質問項目があり、その領域は 5 つに分類される。①Foreign Language Aptitude（外国語学習の適性）、②The Difficulty of Language Learning（言語学習の難易度）、③The Nature of Language Learning（言語学習の性質）、④Learning and Communication Strategies（学習とコミュニケーション・ストラテジー）、⑤Motivations（学習の動機）である。

日本語学習のビリーフに関しては、海外における研究では板井（2000）が中国人学習者の日本語学習に対するビリーフについて香港の 4 つの大学でアンケート調査を行っている。調査結果から、初級段階からコミュニカティブ・アプローチを導入した場合、学習者の口頭伝達能力がさらに伸びる傾向が見られたと述べている。

若井・山澤（2004）は BALLI を用いてハンガリー人日本語教師・学習者のビリーフを調査し、教師と学習者の差異を分析した。また、和田（2007）はスリランカの大学生の言語学習ビリーフから日本語教育の改善を提案している。

タイにおいては Atchara（2008）は外国語教師の役割に関するタイ人日本語学習者のビリーフを研究した。タイ人学習者のビリーフの特徴^(注1)を明らかにし、結果はフィリピン人、スリランカ人、ハンガリー人の学習者にも比較した。

Somporn (2005)はタイの大学と日本の大学における第二言語学習として日本語教育文化の対照を行った^(注2)。学習上に関してタイ人学習者にとって一番問題となるものは漢字が読めないことと言ひ間違いをしたくないから話す勇気がないことがわかった。

Somchai (2008)はタイ人の大学生に既習漢字について意識している問題^(注3)などを調査した。結果は学習者が漢字熟語としてのみ学んだことが多いことから、一字だけの意味、情報などわからないことが明らかだった。

上記の先行研究は漢字学習ピリーフに注目して行われた研究ではない。タイにおいても漢字学習に対するピリーフの研究は少数であると思われる。

2.2 言語学習に対するストラテジー

学習ストラテジー^(注4)とは、学習を補助促進するために学習者が用いる手段である(Nyikos and Oxford, 1993)。

言語学習に関するストラテジー調査では Oxford(1990)により、SILL (Strategy Inventory for Language Learning) というアンケートが作成されている。このアンケートは現在広く使用されている。SILL の中には 75 の質問項目があり、6つのストラテジー使用領域に分類されている。①Memory Strategies (記憶ストラテジー)、②Cognitive Strategies (認知ストラテジー)、③Compensation Strategies (補償ストラテジー)、④Metacognitive Strategies (メタ認知ストラテジー)、⑤Affective Strategies (情意ストラテジー)、⑥Social Strategies (社会的ストラテジー)である。

大北(1995)は SILL を用いてハワイ大学で学習者の漢字学習に対するピリーフとストラテジーを調査した。調査結論より、学習者は漢字の音よりも形を覚えるためのストラテジーを頻繁に使っており、さらに、漢字の読みがわからないと意味がわかっている不安であることがわかった。

タイでは学習者の漢字学習ストラテジーの研究は Chorladda (2007) のしか見られない。Chorladda (2007)はタイの Taweethapisek 男子高校の 66 名の対象者を調査対象に調査し、学習者それぞれが違った漢字学習ストラテジーを使用しているのにも関わらず、試験の結果にほとんど差が見られなかったという結果を得ている。

2.3 漢字学習に対するピリーフとストラテジー

タイでは漢字に対するピリーフとストラテジー共に調査する研究はまだ見られない。

そのほかの国では、ヴェントゥーラ (2007) がフィリピンの漢字教育の改善のために、日本語学習者と教師の漢字学習に対するピリーフとストラテジー使用をアンケートとインタビューで調査している。調査結果からヴェントゥーラはフィリピンの漢字教育に対して、①学習者が漢字学習に対して全体的に肯定的であるので、教師はこのことを認識しながら漢字指導を行う、②学習者は漢字の有効性を重視しているので、教師はそれを意識した授業を行い、それを強調した教授ストラテジーを用いる、③学習者は自分で工夫して新しい学習ストラテジーを使用しているので、教師もそれを積極的に取り入れる、などの提案をしている。

ヴェントゥーラ（2007）は、学習者と教師に漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用に関してアンケート調査とインタビューを行った。アンケート調査では、マニラにある9機関のフィリピン人日本語学習者を209名と、マニラにある13機関と地方にある2機関のフィリピン人日本語教師を25名に行われた。学習者の場合、職業に就くための希望を持っている人が多い。

本研究は学習者側のみ調査する目的とするので、ヴェントゥーラ（2007）の学習者用アンケートのみ取り上げ説明する。アンケートの構造は3Sectionに分かれ、Section Iは学習者の特徴を知るための項目（15項目）、Section IIは漢字学習に対するビリーフを問う項目（42項目）、Section IIIは漢字学習ストラテジー使用を問う項目（26項目）である。また、最後に自由記述の空欄もある。

ヴェントゥーラ（2007）は漢字学習に対するビリーフ調査の領域として Shimizu（1999）の6領域、高崎（2006）、片桐（2005）の研究から項目を選択し、さらに自分で加え、全部で7領域としている。その7領域は次の通りである。

- ① 漢字の社会・伝統・文化的な価値に関するビリーフ
- ② 漢字の難しさに関するビリーフ
- ③ 適性に関するビリーフ
- ④ 漢字の有効性に関するビリーフ
- ⑤ 情意面に関するビリーフ
- ⑥ 教師の役割に関するビリーフ
- ⑦ 漢字学習方法に関するビリーフである。

ビリーフ7領域の質問項目の例を下記の表1に示す。

表1 漢字学習に対するビリーフの7領域とその質問項目の例

領域	質問番号と内容
① 漢字の社会・伝統・文化的な価値に関するビリーフ	5 漢字を理解するために日本の文化を知る必要がある。 22 漢字を勉強しないと日本の文化を完全に理解できない。
② 漢字の難しさに関するビリーフ	42 漢字の難しさ 12 漢字の読み書きは日本語学習の障害となっている。 29 教師がいなくても漢字を自習できる。
③ 適性に関するビリーフ	1 40歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。 2 漢字を学習するための特別な能力を持っている人がいる。 11 絵を描くのが上手な人は漢字を学ぶのが得意だ。
④ 漢字の有効性に関するビリーフ	41 漢字を勉強することは大切だ。 17 日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。 23 漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。
⑤ 情意面に関するビリーフ	14 漢字の読み方を勉強するのが楽しい。 39 漢字の読み方を勉強するのが好きではない。
⑥ 教師の役割に関するビリーフ	13 ネイティブ教師から漢字を習った方が一番いい。 21 漢字を教える際に、教師は工夫して、様々な教授法を使用しなければならない。 31 教師は学生に宿題や練習を与えるべきだ。
⑦ 漢字学習法に関するビリーフ	4 漢字をきれいに書かなければならない。 6 漢字の書き順に注意を払わなければならない。 16 努力すれば、漢字学習に成功する。

一方、漢字学習ストラテジーの方は Oxford (1990) の SILL や横須賀 (1999) や大北 (1995) を参考に、次の5つの領域で調査している。

- ① 文脈学習ストラテジー
- ② 連想学習ストラテジー
- ③ 認知学習ストラテジー
- ④ メタ認知学習ストラテジー
- ⑤ 補償学習ストラテジー

ストラテジー5領域の質問項目の例を下記の表2に示す。

表2 漢字学習に対するストラテジーの5領域とその質問項目の例

領域	質問番号と内容
① 文脈学習ストラテジー	2 新しく習った漢字をできるだけ文章に使ってみる。 15 漢字を一字一字ではなく、熟語の一部として覚える。 23 知らない漢字の意味を文脈から推測する。
② 連想学習ストラテジー	1 新しく習った漢字を既習仮名や漢字と関連付ける。 3 既習漢字を形でグループに分ける。 6 新しく習った漢字を他の言語と関連付ける。
③ 認知学習ストラテジー	10 漢字を暗記する際、フラッシュカードを利用する。 13 既習漢字をよく復習する。 24 似ている漢字の違いを観察する。
④ メタ認知学習ストラテジー	25 自分の漢字学習について考える。 26 先生から習った漢字学習ストラテジーを利用する。
⑤ 補償学習ストラテジー	7 知らない漢字を見つけたら、それを辞書で調べる。

本研究ではタイ人の学習ストラテジーをヴェントゥーラのフィリピン人学習者の結果と比較することも行うため、ヴェントゥーラの学習者用アンケートを採用した。

3. 研究の目的

本研究の目的は(1)タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用を調べ、(2)そのビリーフとストラテジー使用の相関関係を探り、さらに(3)先行研究のフィリピン人との比較をして、タイ人学習者とフィリピン人学習者との類似点、相違点、またタイ人学習者の特徴を明らかにすることである。

研究に先立ち、タイ人とフィリピン人の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用に関し、次の仮説を立てた。

- (1) 大学及び日本語学校で日本語を学んでいるタイ人学習者はそれぞれ違うビリーフを持ち、ストラテジー使用も異なっていることが思われる。
- (2) フィリピン人学習者もタイ人学習者と同様、非漢字圏アジア人であるから、主なビリーフや使用されているストラテジーが概ね類似していると考えられる。
- (3) 双方の学習者は同様な条件 ((2)番の条件)に関わらず、習慣や社会、文化などの影響でタイ人学習者、フィリピン人学習者共に一部異なる特徴を持っていると思われる。

4. 研究の調査対象者

本研究はある程度漢字学習に慣れ、自習できるようになった学習者を対象とする。即ち、初級後半以上の日本語学習者が対象者である。対象者は 197 名で、その内訳は大学生 96 名、日本語学校生 101 名である。大学生のうち、65 名は『みんなの日本語 I・II』（スリーエーネットワーク）を学習済みであり、残り 31 名は『みんなの日本語 II』の後半を学習している。また、大学生は大学で日本語を専攻しておりほとんど毎日日本語を学んでいる。一方、対象者の日本語学校生は初級後半以上であり、使用されている教科書は『日本語初歩』、『みんなの日本語』、「読解用教科書」、「日本語能力試験 3 級対策のための資料」などでバラエティーに富んでいる。学習者の年齢や所属もさまざまで、10 代から 40 代くらいの人までいる。それに、学習の目的もそれぞれ異なっている。学習時間はコースによるが、一週間に 1 回か 2 回授業が行われる。1 回の授業は 2 時間であり、漢字コース以外の授業では漢字指導の有無は教師次第である。

5. 研究方法

調査票はフィリピン人を対象としたヴェントゥーラ (2007) のアンケート (英語版) を一部 (学習者用アンケートの Section II・III) 借用しタイ語に翻訳した。なお、ヴェントゥーラ (2007) の学習者用アンケート「Section II」の「B」と「C」という項目は本研究の調査票のビリーフ調査項目に取り込まれ、「C」は「41」、「B」は「42」項目に変更した。各問題に対して、調査票はタイ語に翻訳して使用した。

調査票は漢字学習に対するビリーフは 42 問で構成されており、「強く賛成」「賛成」「不賛成」「強く不賛成」の 4 段階で評定してもらった。一方、漢字学習に対するストラテジー使用は 26 問で、「いつも使う」「たいてい使う」「あまり使わない」「全然使わない」でビリーフと同様に 4 段階評定してもらった。

調査期間は 2008 年 8 月 22 日～9 月 14 日である。

調査はバンコク内の大学及び日本語学校で実施した。クラスによって研究者以外の教師に調査を依頼した。収集したデータは Excel や SPSS (ver16.0) で統計処理した。

6. タイ人学習者の結果と考察

6.1 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用

6.1.1 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフ

表 3 に漢字学習に対するビリーフの質問項目と領域を示す。

表 3 漢字学習に対するビリーフの質問項目と領域

番号	質問項目	領域
1	40 歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。	適性に関するビリーフ
2	漢字を学習するための特別な能力を持っている人がある。	適性に関するビリーフ
3	タイ人/フィリピン人は漢字を学習するのが得意だ。	適性に関するビリーフ
4	漢字をきれいに書かなければならない。	漢字学習法に関するビリーフ
5	漢字を理解するために日本の文化を知る必要がある。	漢字の社会・伝統・文化的な価値に関するビリーフ
6	漢字の書き順に注意を払わなければならない。	漢字学習法に関するビリーフ

7	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。	漢字学習法に関するビリーフ
8	中国語学習経験のある学生はほかの人より漢字を読むのが得意だ。	適性に関するビリーフ
9	中国語学習経験のある学生はほかの人より漢字を書くのが得意だ。	適性に関するビリーフ
10	中国語学習経験のある学生はほかの人より漢字の意味を覚えるのが得意だ。	適性に関するビリーフ
11	絵を描くのが上手な人は漢字を学ぶのが得意だ。	適性に関するビリーフ
12	漢字の読み書きは日本語学習の障害となっている。	漢字の難しさに関するビリーフ
13	ネイティブ教師から漢字を習った方が一番いい。	教師の役割に関するビリーフ
14	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。	情意面に関するビリーフ
15	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。	情意面に関するビリーフ
16	努力すれば、漢字学習に成功する。	漢字学習法に関するビリーフ
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	漢字の有効性に関するビリーフ
18	女性は男性より漢字の読み書きを勉強するのが得意だ。	適性に関するビリーフ
19	漢字の読み書きができると、職場や学校などの周りの人に尊敬される。	漢字の有効性に関するビリーフ
20	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっとわかりやすくなる。	漢字の有効性に関するビリーフ
21	漢字を教える際に、教師は工夫して、様々な教授法を使用しなければならない。	教師の役割に関するビリーフ
22	漢字を勉強しないと日本の文化を完全に理解できない。	漢字の社会・伝統・文化的な価値に関するビリーフ
23	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。	漢字の有効性に関するビリーフ
24	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。	漢字の有効性に関するビリーフ
25	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。	漢字学習法に関するビリーフ
26	教師は漢字の意味や語源などを詳しく説明する必要がある。	教師の役割に関するビリーフ
27	教師は本やウェブサイトのようなリソースを紹介するべきだ。	教師の役割に関するビリーフ
28	(先生)は漢字の読み方を教えるのが好きだ。	情意面に関するビリーフ
29	教師がいなくても漢字を自習できる。	漢字の難しさに関するビリーフ
30	漢字を勉強するとき練習と復習は欠かせない。	漢字学習法に関するビリーフ
31	教師は学生に宿題や練習を与えるべきだ。	教師の役割に関するビリーフ
32	タイ/フィリピンは日本と文化・政治・経済的な関係を持っているため、漢字を勉強する必要がある。	漢字の社会・伝統・文化的な価値に関するビリーフ
33	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。	漢字学習法に関するビリーフ
34	漢字の勉強を面白くするために教師はゲームやゲーム的な教室活動を利用すべきだ。	教師の役割に関するビリーフ
35	漢字を覚えるのはほかの言語の綴り方を覚えるより簡単だ。	漢字の難しさに関するビリーフ
36	現在、ワープロやパソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	漢字の有効性に関するビリーフ
37	漢字を学習する際、音読みを覚えるのが大切だ。	漢字学習法に関するビリーフ
38	漢字を学習する際、訓読みを覚えるのが大切だ。	漢字学習法に関するビリーフ
39	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	情意面に関するビリーフ
40	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	情意面に関するビリーフ
41	漢字を勉強することは大切だ。	漢字の有効性に関するビリーフ
42	漢字の難しさ	漢字の難しさに関するビリーフ

次にタイ人大学生 96 名、日本語高校生 101 名の結果を示す。

6.1.1.1 大学生の結果（上位順）

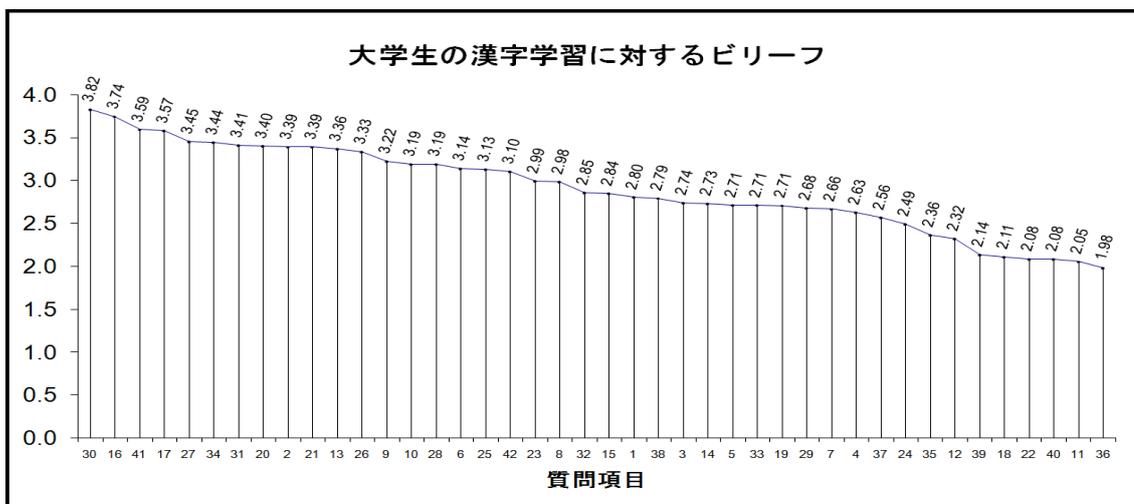


図1 大学生の漢字学習に対するビリーフの平均値 N=96

6.1.1.2 日本語学校生の結果（上位順）

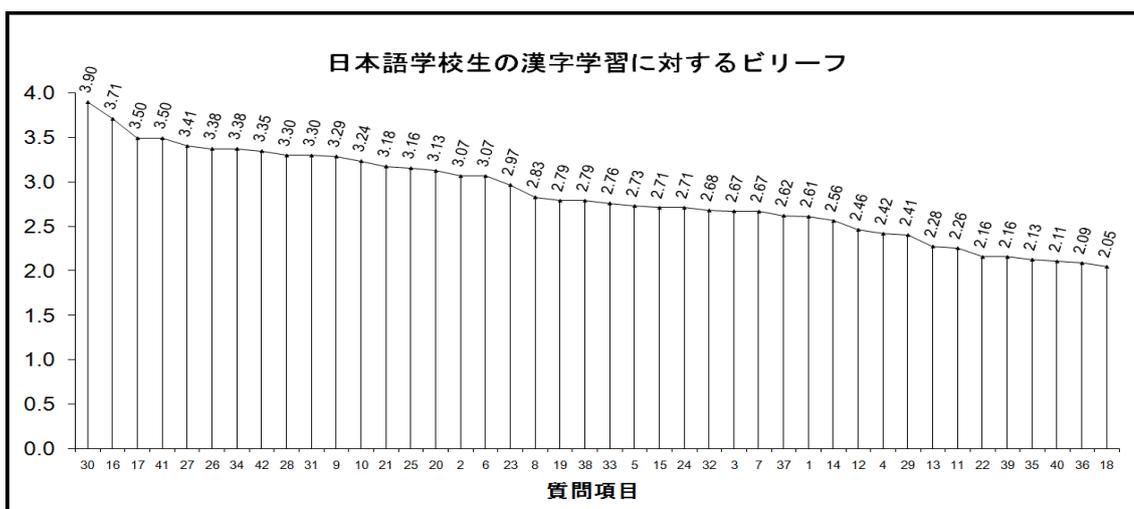


図2 日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの平均値 N=101

図1と図2に挙げられた上位順の項目を見ると、大学生、日本語学校生と共に漢字学習に対するビリーフの平均値に全体的差がないことがわかった。

上位に挙げられた共通の項目は30、16、41、17、27である。つまり、漢字の練習と復習が最も大事であると思っており、努力すれば、漢字学習に成功し、日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。また、教師の指導による影響があるというビリーフを持っている。

下位に挙げられた共通の項目は 36、18、40、39、35 などであった。つまり、現在、ワープロやパソコンがよく使われていても、漢字を勉強する必要がある。そして、女性は男性より漢字の読み書きを勉強するのが得意だとは思っていない。また、漢字の読み書き方を勉強するのが好きであるが、漢字を覚えるのはほかの言語の綴り方を覚えるより簡単であるとも思っていないことがわかる。

次にタイの大学生と日本語学校生の漢字学習のビリーフの平均値を比較する。

6.1.1.3 大学生と日本語学校生の結果の比較

表 4 は大学生と日本語学校生の漢字学習に対しするビリーフを示す。双方に差があるかをみるために、t 検定を行った。

表 4 大学生と日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの平均値

質問項目	大学生 (N=96)	日本語学校生 (N=101)	t 値
	平均値 (標準偏差)	平均値 (標準偏差)	
1	2.80 (0.592)	2.61 (0.721)	2.00 *
2	3.39 (0.639)	3.07 (0.587)	3.62 **
3	2.74 (0.587)	2.67 (0.650)	0.72 n. s.
4	2.63 (0.771)	2.42 (0.755)	1.88 +
5	2.71 (0.679)	2.73 (0.760)	-0.24 n. s.
6	3.14 (0.841)	3.07 (0.725)	0.50 n. s.
7	2.66 (0.895)	2.67 (0.995)	-0.05 n. s.
8	2.98 (0.917)	2.83 (0.861)	1.16 n. s.
9	3.22 (0.784)	3.29 (0.640)	-0.70 n. s.
10	3.19 (0.701)	3.24 (0.680)	-0.51 n. s.
11	2.05 (0.701)	2.26 (0.702)	-2.05 *
12	2.32 (0.779)	2.46 (0.861)	-1.23 n. s.
13	3.36 (0.682)	2.28 (0.665)	11.32 **
14	2.73 (0.688)	2.56 (0.793)	1.56 n. s.
15	2.84 (0.716)	2.71 (0.753)	1.25 n. s.
16	3.74 (0.441)	3.71 (0.455)	0.42 n. s.
17	3.57 (0.518)	3.50 (0.559)	1.01 n. s.
18	2.11 (0.691)	2.05 (0.712)	0.56 n. s.
19	2.71 (0.698)	2.79 (0.697)	-0.87 n. s.
20	3.40 (0.624)	3.13 (0.716)	2.79 **
21	3.39 (0.587)	3.18 (0.699)	2.25 *
22	2.08 (0.643)	2.16 (0.717)	-0.77 n. s.
23	2.99 (0.814)	2.97 (0.699)	0.18 n. s.
24	2.49 (0.680)	2.71 (0.792)	-2.12 *
25	3.13 (0.585)	3.16 (0.628)	-0.39 n. s.
26	3.33 (0.629)	3.38 (0.646)	-0.51 n. s.
27	3.45 (0.578)	3.41 (0.586)	0.51 n. s.
28	3.19 (0.621)	3.30 (0.611)	-1.28 n. s.
29	2.68 (0.801)	2.41 (0.839)	2.32 *
30	3.82 (0.384)	3.90 (0.300)	-1.59 n. s.
31	3.41 (0.554)	3.30 (0.689)	1.19 n. s.

32	2.85 (0.767)	2.68 (0.747)	1.58 n. s.
33	2.71 (0.845)	2.76 (0.862)	-0.44 n. s.
34	3.44 (0.539)	3.38 (0.563)	0.78 n. s.
35	2.36 (0.713)	2.13 (0.808)	2.17 *
36	1.98 (0.725)	2.09 (0.694)	-1.09 n. s.
37	2.56 (0.770)	2.62 (0.691)	-0.57 n. s.
38	2.79 (0.770)	2.79 (0.712)	-0.02 n. s.
39	2.14 (0.734)	2.16 (0.821)	-0.21 n. s.
40	2.08 (0.735)	2.11 (0.835)	-0.23 n. s.
41	3.59 (0.516)	3.50 (0.541)	1.25 n. s.
42	3.10 (0.637)	3.35 (0.796)	-2.37 *

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, + $0.1 > p > 0.05$

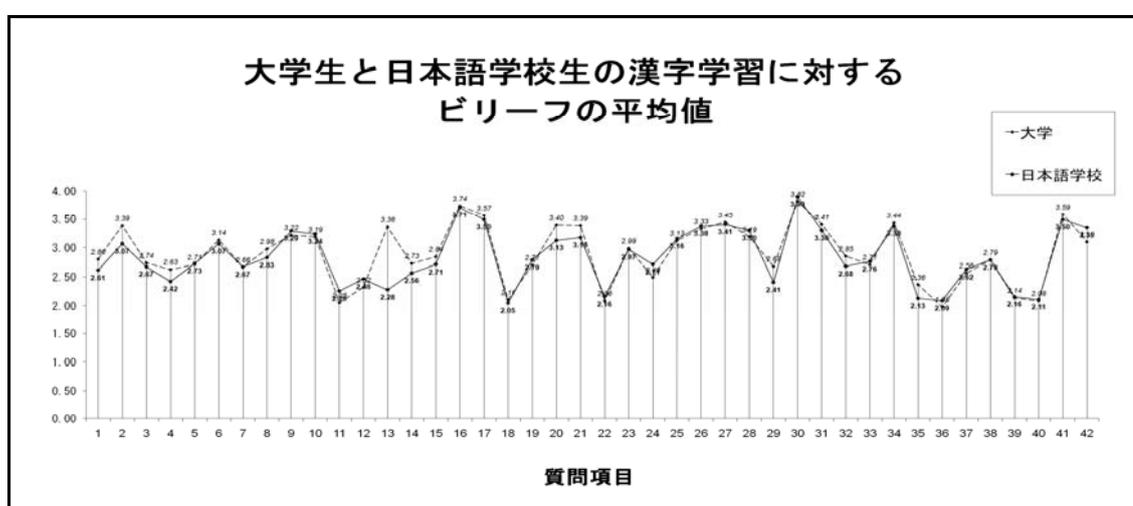


図3 大学生と日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの平均値

表4により、1%有意差のあったのは項目2、13、20で、5%の有意差が認められたのは項目1、11、21、24、29、35、42であった。項目4は有意傾向であった。

結果はつまり学習者が漢字を学習するための特別な能力を持っている人がいることと、漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっとわかりやすくなることという項目は双方の学習者が強くビリーフを持っている。

次に、40歳以上になれば、漢字学習が難しいと思っている項目は大学生が、日本語学校生より高くビリーフを思っている。この相違点について考察してみると、日本語学校生は半分以上大人で社会人が多いため、会社など働く人は仕事上漢字に触れているから、年をとっても学べると感じていることが思われる。

絵を描くのが上手な人は漢字を学ぶのが得意だという項目は大学生も日本語学校生もそう思っていない。

漢字を教える際に、教師は工夫して、さまざまな教授法を使用しなければならない項目は大学生が日本語学校生よりビリーフを持っている。

漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなると日本語学校生が若干高くピリーフを持っているが、大学生はそういうピリーフを持っていない。この点の考察では、前述のように日本語学校生が社会人が多く日本人との交流をする、日本の社会に参加する経験などを持っている人が少なくないので、漢字は日本の社会に対する有効性があると感じたからであると考えられる。

教師がいなくても漢字を自習できる項目は大学生が思っている。反対に日本語学校生は思っていない傾向である。

漢字を覚えるのはほかの言語の綴り方を覚えるより簡単だと項目は双方の学習者が思っていない。

また、漢字の難しさについて双方の学習者が難しいと思っているが、日本語学校生のほうが強くピリーフを持っている。これは日本語学校生が大学生より漢字を練習・復習する機会が少ないことから、そう感じたと思われる。

次に、漢字学習に対するストラテジーの結果と考察を述べる。

6.1.2 タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジー使用

調査の質問項目と領域は以下の通りである。

表5 漢字学習に対するストラテジー使用の質問項目と領域

番号	質問項目	領域
1	新しく習った漢字を既習仮名や漢字と関連付ける。	連想学習ストラテジー
2	新しく習った漢字をできるだけ文章に使ってみる。	文脈学習ストラテジー
3	既習漢字を形でグループに分ける。	連想学習ストラテジー
4	既習漢字を意味でグループに分ける。	連想学習ストラテジー
5	既習漢字を音読みでグループに分ける。	連想学習ストラテジー
6	新しく習った漢字を他の言語と関連付ける。	連想学習ストラテジー
7	知らない漢字を見つけたら、それを辞書で調べる。	補償学習ストラテジー
8	漢字の音とイメージを組み合わせて、新しい漢字を覚える。	連想学習ストラテジー
9	漢字を初めて見たところ（ページ）などを記憶する。	連想学習ストラテジー
10	漢字を暗記する際、フラッシュカードを利用する。	認知学習ストラテジー
11	新しく習った漢字の書き順を暗記する。	認知学習ストラテジー
12	新しく習った漢字とその熟語をリストアップする。	連想学習ストラテジー
13	既習漢字をよく復習する。	認知学習ストラテジー
14	漢字の訓読みと音読みと同時に覚える。	連想学習ストラテジー
15	漢字を一字一字ではなく、熟語の一部として覚える。	文脈学習ストラテジー
16	新しく習った漢字の形を目で覚える。	認知学習ストラテジー
17	新しく習った漢字を覚えるために、それを繰り返して書く。	認知学習ストラテジー
18	看板、本、雑誌などで既習漢字を探す。	文脈学習ストラテジー
19	漢字を含む文章を繰り返して読んで、形と読み方を覚える。	認知学習ストラテジー
20	漢字を覚えるために、声を出しながら、それを繰り返して書く。	認知学習ストラテジー
21	よく知らない漢字に振り仮名を振る。	認知学習ストラテジー
22	漢字を覚えるためにストーリーを作る。	連想学習ストラテジー
23	知らない漢字の意味を文脈から推測する。	文脈学習ストラテジー
24	似ている漢字の違いを観察する。	認知学習ストラテジー
25	自分の漢字学習について考える。	メタ認知学習ストラテジー
26	先生から習った漢字学習ストラテジーを利用する。	メタ認知学習ストラテジー

6.1.2.1 大学生の結果（上位順）

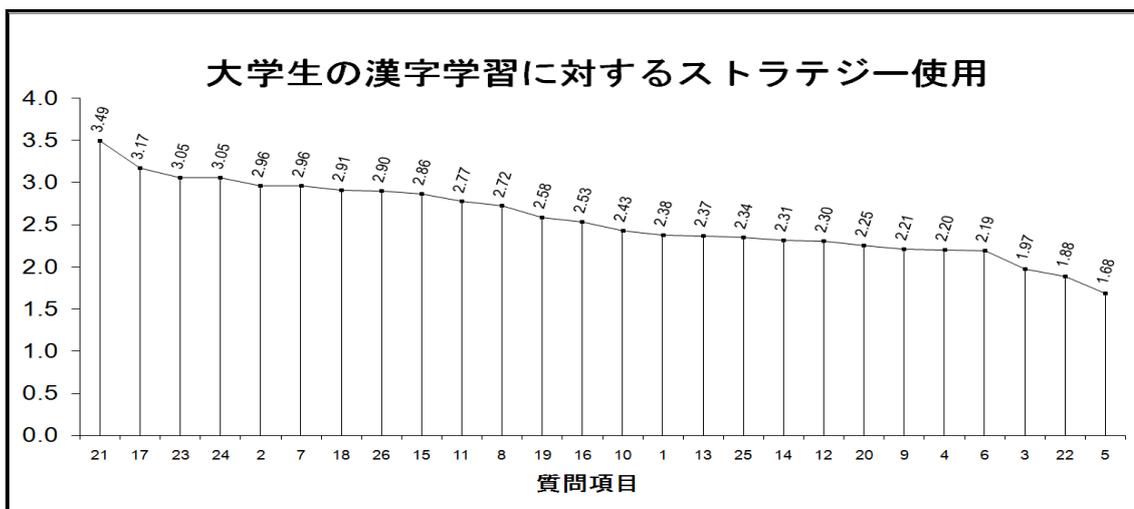


図4 大学生の漢字学習に対するストラテジー使用の平均値 N=96

6.1.2.2 日本語学校生の結果（上位順）

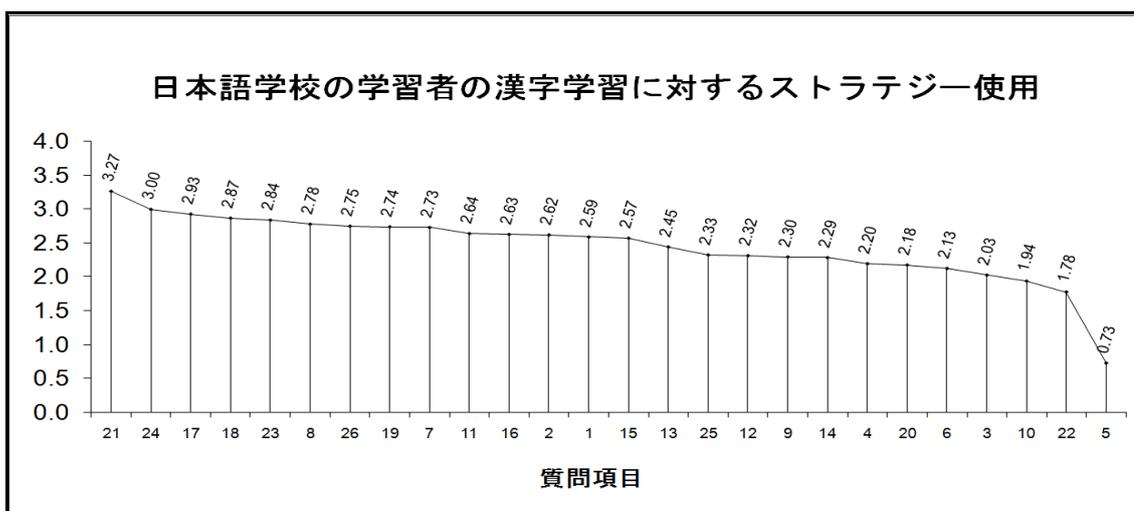


図5 日本語学校生の漢字学習に対するストラテジー使用の平均値 N=101

図4と図5に挙げられた平均値の上位順の項目を見ると、大学生、日本語学校生との漢字学習に対するストラテジー使用は差が見られた。

上位に挙げられた項目は21、17、23、24、18などであった。つまり、よく知らない漢字に振り仮名を振るのが一番よく使用されているストラテジーである。ほかには似ている漢字の違いを観察する、新しく習った漢字を覚えるために、それを繰り返して書く、知らない漢字の意味を文脈から推測する、看板、本、雑誌などで既習漢字を探す、などというストラテジーが上位に挙がった。

下位に挙げられた項目は 5、22、3、6、4 などであった。つまり、既習漢字を音読み・形・意味でグループに分ける、漢字を覚えるためにストーリーを作る、新しく習った漢字を他の言語と関連付けるというようなストラテジーはあまり使用していない。

6.1.2.3 大学生と日本語学校生の結果の比較

表 6 大学生と日本語学校生の漢字学習に対するストラテジー使用の比較

質問項目	大学生 (N=96)	日本語学校生 (N=101)	t 値
	平均値 (標準偏差)	平均値 (標準偏差)	
1	2.38 (0.700)	2.59 (0.819)	-1.98 *
2	2.96 (0.710)	2.62 (0.835)	3.02 **
3	1.97 (0.864)	2.03 (0.842)	-0.50 n. s.
4	2.20 (0.878)	2.20 (0.949)	0.00 n. s.
5	1.68 (0.816)	0.73 (0.729)	-0.96 n. s.
6	2.19 (1.009)	2.13 (0.956)	0.42 n. s.
7	2.96 (0.857)	2.73 (0.979)	1.72 +
8	2.72 (0.867)	2.78 (0.890)	-0.51 n. s.
9	2.21 (0.939)	2.30 (0.985)	-0.65 n. s.
10	2.43 (1.034)	1.94 (1.018)	3.33 **
11	2.77 (0.761)	2.64 (0.965)	1.02 n. s.
12	2.30 (0.860)	2.32 (1.048)	-0.11 n. s.
13	2.37 (0.745)	2.45 (0.818)	-0.69 n. s.
14	2.31 (0.812)	2.29 (0.898)	0.21 n. s.
15	2.86 (0.870)	2.57 (0.876)	2.31 *
16	2.53 (0.807)	2.63 (0.837)	-0.84 n. s.
17	3.17 (0.763)	2.93 (0.886)	2.00 *
18	2.91 (0.782)	2.87 (0.945)	0.28 n. s.
19	2.58 (0.790)	2.74 (0.856)	-1.35 n. s.
20	2.25 (0.894)	2.18 (0.974)	0.54 n. s.
21	3.49 (0.725)	3.27 (0.859)	1.96 +
22	1.88 (0.988)	1.78 (0.991)	0.74 n. s.
23	3.05 (0.863)	2.84 (0.914)	1.66 +
24	3.05 (0.639)	3.00 (0.721)	0.54 n. s.
25	2.34 (0.819)	2.33 (0.776)	0.15 n. s.
26	2.90 (0.718)	2.75 (0.793)	1.33 n. s.

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, + $0.1 > p > 0.05$

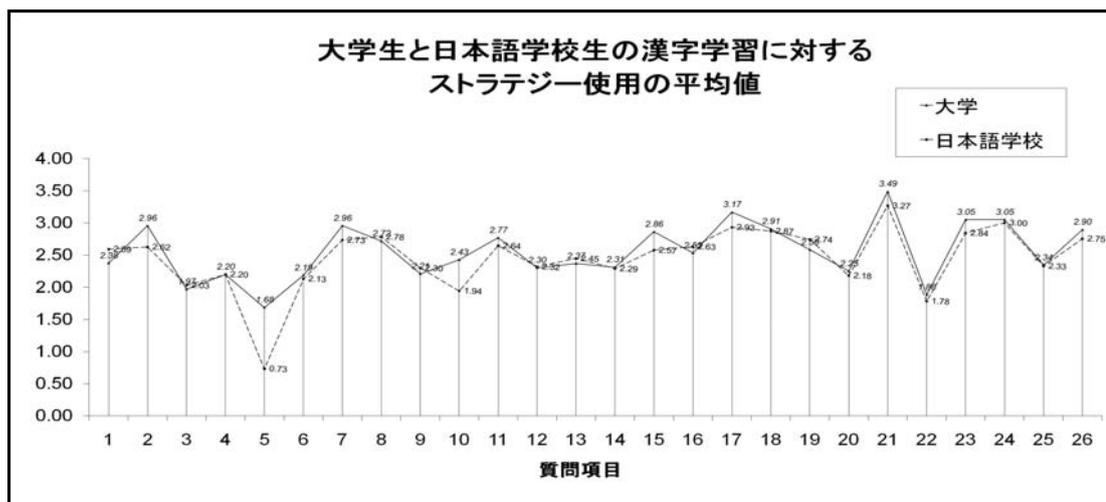


図6 大学生と日本語学校生の漢字学習に対するストラテジー使用

表6により、1%有意差のあったのは項目2、10で、5%の有意差が認められたのは項目1、15、17であった。項目7、21、23は有意傾向であった。

結果はつまり新しく習った漢字をできるだけ文章に使ってみるという文脈学習ストラテジーについて、大学生が日本語学校生より使用している。そして、漢字を暗記する際、フラッシュカードを利用するという認知学習ストラテジーについて大学生、日本語学校生と共にあまり使用していない。

新しく習った漢字を既習仮名や漢字と関連付けるという連想学習ストラテジーについて大学生は使用しないが日本語学校生は使用している傾向がやや見られる。

漢字を一字一字ではなく、熟語の一部として覚えるという文脈学習ストラテジーについて大学生はよく使っているが、日本語学校生は中の程度で使っている。

新しく習った漢字を覚えるために、それを繰り返して書くという認知学習ストラテジーについて双方よく使用している。

6.2 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジー領域の相関

6.2.1 大学生と日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関

表7 大学生の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関係数

大学生							
ビリーフ	社会・伝統・文化的な評価	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の役割	漢字学習法
社会・伝統・文化的な評価	1						
難しさ	0.115	1					
適性	0.07	-0.022	1				
有効性	0.343**	0.153	0.326**	1			
情意面	0.126	-0.015	-0.067	-0.062	1		
教師の役割	0.228*	0.128	0.021	0.181	0.092	1	
漢字学習法	0.043	-0.099	0.145	0.236*	-0.033	-0.105	1

*p<0.05, **p<0.01

表8 日本語学校生の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関係数

日本語学校生							
ビリーフ	社会・伝統・文化的な評価	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の役割	漢字学習法
社会・伝統・文化的な評価	1						
難しさ	-0.051	1					
適性	0.100	0.274**	1				
有効性	0.429**	0.057	0.256**	1			
情意面	0.010	0.472**	0.358**	0.319**	1		
教師の役割	0.236*	0.232*	0.264**	0.267**	0.193	1	
漢字学習法	0.401**	0.378**	0.371**	0.364**	0.253*	0.269**	1

*p<0.05, **p<0.01

表7と表8から見ると、大学生、日本語学校生双方のビリーフ間の相関がほとんど見られない。ただし、日本語学校生の漢字学習に対するビリーフ間の中で、日本語学校生では「難しさ」と「情意面」間はかなり相関がある。つまり、日本語は難しいが勉強することは楽しく好きであるというビリーフ間の関係が見られる。

そして、「社会・伝統・文化的な評価」と「有効性」間の相関も比較的強い。つまり、漢字学習は社会・文化に対して有効性があるとビリーフを持っている。

6.2.2 大学生と日本語学校生の漢字学習に対するストラテジー間の相関

表9 大学生の漢字学習に対するストラテジーの領域間の相関係数

大学生					
ストラテジー	文脈学習	連想学習	認知学習	メタ認知学習	補償学習
文脈学習	1				
連想学習	0.482**	1			
認知学習	0.509**	0.702**	1		
メタ認知学習	0.418**	0.613**	0.522**	1	
補償学習	0.456**	0.327**	0.362**	0.327**	1

*p<0.05, **p<0.01

表9を見ると、「文脈学習」と「認知学習」間、「連想学習」と「認知学習」間、「連想学習」と「メタ認知学習」間、「認知学習」と「メタ認知学習」間に中くらいの相関が見られ、特に「連想学習」と「認知学習」間には0.702と高い相関が認められた。

表10 日本語学校生の漢字学習に対するストラテジー領域間の相関係数

日本語学校生					
ストラテジー	文脈学習	連想学習	認知学習	メタ認知学習	補償学習
文脈学習	1				
連想学習	0.742**	1			
認知学習	0.757**	0.828**	1		
メタ認知学習	0.472**	0.562**	0.629**	1	
補償学習	0.312**	0.398**	0.378**	0.254**	1

*p<0.05, **p<0.01

表10を見ると、「文脈学習」と「連想学習」間、「文脈学習」と「認知学習」間、「連想学習」と「認知学習」間、「連想学習」と「メタ認知学習」間、「認知学習」と「メタ認知学習」間の相関が見られる。最も相関があるストラテジー使用は「連想学習」と「認知学習」間で0.828も非常に高い。その次に、「文脈学習」と「認知学習」「連想学習」間の相関で0.757と0.742との順である。

表9と表10を検討すると、大学生と日本語学校生がさまざまな学習ストラテジーを一緒に使用していると明らかになっている。特に「連想学習」と「認知学習」を一緒に使うのが一番多い。また、全体的に日本語学校生の使用するストラテジーの相関係数が大学生より高くなっている。また、補償学習ストラテジー、つまり辞書で言葉を調べることはほかのストラテジーとの相関は低い。

表 11 大学生の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用の相関係数

大学生							
ビリーフ ストラテジー	社会・伝 統・文化 的な評価	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の 役割	漢字学習 法
文脈学習	-0.050	0.003	-0.014	0.012	0.008	-0.033	0.010
連想学習	-0.050	0.001	-0.049	0.146	-0.093	0.026	0.109
認知学習	0.017	-0.033	-0.095	0.077	-0.079	0.102	0.073
メタ認知学習	0.001	0.045	-0.119	0.082	-0.115	-0.029	0.199
補償学習	-0.122	-0.004	-0.004	0.042	-0.195	-0.047	-0.041

*p<0.05, **p<0.01

表 12 日本語学校生の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用の相関係数

日本語学校生							
ビリーフ ストラテジー	社会・伝 統・文化 的な評価	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の 役割	漢字学習 法
文脈学習	0.225*	-0.124	0.120	0.177	-0.066	0.097	0.132
連想学習	0.239*	-0.138	0.119	0.204*	-0.044	0.056	0.022
認知学習	0.246*	-0.070	0.103	0.242*	0.044	0.084	0.097
メタ認知学習	0.202*	-0.062	0.004	0.314**	0.018	0.232**	0.013
補償学習	0.009	-0.047	0.051	-0.006	-0.112	0.057	-0.029

*p<0.05, **p<0.01

6.3 漢字学習に対する重要度順の比較

アンケートにより、漢字学習に対する大切さの順番はどのようになるか。「漢字の意味」「訓読み」「音読み」「書き順」を学習者に並べてもらった。結果は次の通りである。

1位「書き順(71名)」 2位「漢字の意味(56名)」

3位「訓読み(43名)」 4位「音読み(23名)」 [197名中、193名回答] である。

しかし、大学生と日本語学校生別に見ると、次のような結果になる。

〈大学生〉 1位「書き順46名(47.92%)」 2位「訓読み29名(30.21%)」
3位「音読み12名(12.5%)」 4位「漢字の意味9名(9.38%)」
(合計96名)

〈日本語学校〉 1位「漢字の意味47名(48.45%)」 2位「書き順25名(25.77%)」
3位「訓読み14名(14.43%)」 4位「音読み11名(11.34%)」
(合計97名)

上記の結果から大学生が漢字学習に対して、最も大切であると思っているのは、「書き順」であるということである。ここで、考えられるのはタイの大学の漢字学習では漢字の書き方に非常に重点がおかれ、試験のために書き方を正確に覚えなければならないことが考えられる。逆に「漢字の意味」についてはあまり試験に出題されないため、一番後ろの順位に現れるものと思われる。

一方、日本語学校生では、一番目大切だと考えているのは「漢字の意味」である。日本語学校の場合は漢字コース以外であれば、漢字の試験はほとんどないが、漢字は読解や文法授業に使われるから、「漢字の意味」が一番大切であると答えたものと推測できる。また、書き方はあまり指導されないため、必要でないと思っていることが考えられる。

6.4 タイ人学習者の結果のまとめ

大学生、日本語学校生共に日本語学習には漢字が欠かせないものであり、しかも漢字学習は努力すれば成功できるというビリーフを持っている。学習法について練習と復習の頻度が重要だと考えており、漢字学習は人の適性にはあまり関係ないと信じている。教師の役割について大学生は自習できるとやや信じているが、日本語学校生は教師が必要であると思っている。漢字がわかれば、日本・日本の社会で生活しやすくなると日本語学校生が信じているが、大学生はそういうビリーフを持っていない。

相関について、双方ともビリーフ間には相関が認められなかったが、ストラテジー間の相関は認められた。また、双方の学習者ともに「連想学習」と「認知学習」間のストラテジー使用に相関が認められた。

漢字学習に対する学習法の大切さの順位は大学生と日本語学校生は同じではなかった。大学生は「書き順」が一番大切で、「意味」が最後になっている。しかし、日本語学校生が「意味」が一番大切で、「書き順」がその次になっている。これに対して、大学生は漢字の試験があるから、漢字の書き方が一番大事であるが、試験には意味を書くのがほとんど出題されないため、学習の際、書き方を優先に覚えることが考えられる。一方、日本語学校生は漢字の試験があまりないので、意味を優先に覚えていると思われる。

次に、タイ人学習者とフィリピン人学習者の結果を比較する。

7. タイ人学習者とフィリピン人学習者の比較の結果と考察

7.1 タイ人・フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフ

7.1.1 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフ（上位 10 項目）

表 13 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフ（上位 10 項目）N=197

タイ人学習者					
順位	番号	ビリーフ	平均値	標準偏差	グループ
1	30	漢字を勉強するとき練習と復習は欠かせない。	3.86	0.345	漢字学習法
2	16	努力すれば、漢字学習に成功できる。	3.73	0.447	漢字学習法
3	41	漢字を勉強することは大切だ。	3.54	0.530	有効性
4	17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	3.53	0.539	有効性
5	27	教師は本やウェブサイトのようなリソースを紹介すべきだ。	3.43	0.581	教師の役割
6	34	漢字の勉強を面白くするために教師はゲームやゲーム的な教室活動を利用すべきだ。	3.41	0.551	教師の役割
7	26	教師は漢字の意味や語源などを詳しく説明する必要がある。	3.35	0.636	教師の役割
8	31	教師は学生に宿題や練習を与えるべきだ。	3.35	0.627	教師の役割
9	21	漢字を教える際に、教師は工夫して、様々な教授法を使用しなければならない。	3.28	0.653	教師の役割
10	20	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっとわかりやすくなる。	3.26	0.684	有効性
	9	中国語学習経験のある学生は他の人より漢字を書くのが得意だ。	3.26	0.713	適性

表 14 フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフ（上位 10 項目）N=209

フィリピン人学習者					
順位	番号	ビリーフ	平均値	標準偏差	グループ
1	30	漢字を勉強するとき練習と復習は欠かせない。	3.66	0.476	漢字学習法
2	17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。	3.55	0.518	有効性
3	16	努力すれば、漢字学習に成功できる。	3.55	0.545	漢字学習法
4	C*	漢字を勉強することは大切だ。	3.50	0.538	有効性
5	31	教師は学生に宿題や練習を与えるべきだ。	3.49	0.529	教師の役割
6	27	教師は本やウェブサイトのようなリソースを紹介すべきだ。	3.44	0.561	教師の役割
7	21	漢字を教える際に、教師は工夫して、様々な教授法を使用しなければならない。	3.40	0.597	教師の役割
8	34	漢字の勉強を面白くするために教師はゲームやゲーム的な教室活動を利用すべきだ。	3.38	0.569	教師の役割
9	9	中国語学習経験のある学生は他の人より漢字を書くのが得意だ。	3.36	0.644	適性
10	28	私の先生は漢字の読み書きを教えるのが好きだ。	3.32	0.577	情意

注：「C*」番は表 7.1.1 の「41」番にあてはまる。

ヴェントゥーラ (2007)

表 13 を見ると、上位には「教師の役割」、「有効性」、「漢字学習法」に関するビリーフが挙がっている。その中で、「教師の役割」というビリーフは最も高い。タイ人学習者が漢字学習に関して教師を高く期待していると明らかになっている。

次に、表 13 と表 14 を比較し、タイ人学習者とフィリピン学習者の類似点・相違点、また特徴を明らかにする。

〈タイ〉漢字学習に対するビリーフの上位 10 項目に現れたグループは「漢字学習法（2 つ；30, 16）」、「有効性（3 つ；C, 17, 20）」、「教師の役割（5 つ；27, 34, 26, 31, 21）」、「適性（1 つ；9）」、である。

〈フィリピン〉フィリピンの結果では、「漢字学習法（2 つ；30, 16）」、「有効性（2 つ；17, C）」、「教師の役割（4 つ；31, 27, 21, 34）」、「適性（1 つ；9）」、「情意（1 つ；28）」である。

※「項目（項目数；質問番号）」を示している、順位 10 番に 2 つ同じ値が現れる場合、双方用いる。

表 13 と表 14 を見ると、タイ人学習者とフィリピン人学習者とも漢字学習に対するビリーフはほぼ同様であることが明らかになった。データにより言えることは、

- (1) 両国の学習者は「漢字学習法」が一番大切であることを信じている。つまり、漢字学習に対しては努力が必要であり、漢字を練習したり復習したりすれば、成功できると信じている。
- (2) 漢字学習には「有効性」があり、日本語能力を高めるために漢字学習が大切であると信じている。また、タイ人学習者は漢字を利用して漢字熟語の意味の理解に使用できると強く思っている。この点ではフィリピン人学習者と違う点である。
- (3) さらに、漢字を学習するには教師が役割を果たさなければならないという学習者のビリーフが一番多い。教師はさまざまなリソースを紹介し、授業も工夫してゲームやゲーム的なものを導入しなければならない。また、漢字の指導の際、詳しく語源などを教え、宿題も練習も与えるべきであると学習者が思っている。この点ではタイ人学習者がフィリピン人学習者より若干高く見られ、フィリピン人より少々教師に詳しい指導を期待していると考えられる。
- (4) 他には両国の学習者共に中国語の学習経験のある学生であれば他の人より漢字を書くのが得意だと信じている。

なお、上位 10 項目の中で、フィリピン人学習者にしか現れなかった項目に 28 番があるが、28 番はタイでは上位から 12 番目に現れているのでほとんど差がなかったと思われる。次に下位の順位から考察する。

表 15 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフ（下位 10 項目）N=197

タイ人学習者					
順位	番号	ビリーフ	平均値	標準偏差	グループ
42	36	現在、ワープロやパソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。	2.04	0.710	有効性
41	18	女性は男性より漢字の読み書きを勉強するのが得意だ。	2.08	0.701	適性
40	40	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	2.10	0.786	情意面
39	22	漢字を勉強しないと日本の文化を完全に理解できない。	2.12	0.682	社会・伝統・文化的な評価
38	39	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	2.15	0.778	情意面
37	11	絵を描くのが上手な人は漢字を学ぶのが得意だ。	2.16	0.708	適性
36	35	漢字を覚えるのはほかの言語の綴り方を覚えるより簡単だ。	2.24	0.770	難しさ
35	12	漢字の読み書きは日本語学習の障害となっている。	2.39	0.823	難しさ
34	4	漢字をきれいに書かなければならない。	2.52	0.768	漢字学習法
33	29	教師がいなくても漢字を自習できる。	2.54	0.830	難しさ

表 16 フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフ（下位 10 項目）N=209

フィリピン人学習者					
順位	番号	ビリーフ	平均値	標準偏差	グループ
42	40	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。	1.67	0.651	情意面
41	39	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。	1.68	0.662	情意面
40	18	女性は男性より漢字の読み書きを勉強するのが得意だ。	2.11	0.739	適性
39	12	漢字の読み書きは日本語学習の障害となっている。	2.16	0.806	難しさ
38	35	漢字を覚えるのはほかの言語の綴り方を覚えるより簡単だ。	2.38	0.733	難しさ
37	13	ネイティブ教師から漢字を習ったほうがいい。	2.39	0.733	
36	11	絵を描くのが上手な人は漢字を学ぶのが得意だ。	2.43	0.670	適性
35	29	教師がいなくても漢字を自習できる。	2.59	0.675	難しさ
34	3	私の国から来た学習者は漢字を勉強するのが得意だ。	2.60	0.666	適性
33	22	漢字を勉強しないと日本の文化を完全に理解できない。	2.63	0.885	社会・伝統・文化的な評価

ヴェントウラ（2007）

表 15 を見ると、下位には「難しさ」、「適性」、「情意面」に関するビリーフが挙がっている。その中で、「難しさ」というビリーフが一番多い。タイ人学習者は漢字は難しいが勉強しなければならないというビリーフを思っている。

次に、表 15 と表 16 を比較し、タイ人学習者とフィリピン学習者の類似点・相違点、また双方の特徴を探る。

〈タイ〉漢字学習に対するビリーフの下位に現れたグループは「有効性（1つ；36）」、「適性（2つ；18, 11）」、「情意面（2つ；40, 39）」、「社会・伝統・文化的な評価（1つ；22）」、「難しさ（3つ；35, 12, 29）」、「漢字学習法（1つ；4）」である。

〈フィリピン〉フィリピンの結果では、「情意面（2つ；40, 39）」、「適性（3つ；18, 11, 3）」、「難しさ（3つ；12, 35, 29）」、「教師の役割（1つ；13）」、「社会・伝統・文化的な評価（1つ；22）」である。

※「項目（項目数；質問番号）」を示している、順位 10 番に 2 つ同じ値が現れる場合、双方用いる。

表 17 と表 18 を見ると、タイ人学習者とフィリピン人学習者とのビリーフの相違点がさまざまに見られる。データにより言えることは、

- (1) タイ人学習者の一番上に現れたのは 36 番である。タイ人学習者が現在、ワープロやパソコンがよく使われていても、漢字を勉強しなければならないと信じていることがわかる。反対に、フィリピン人学習者がパソコンなどが使えば漢字を勉強しなくてもいいというビリーフを高く持っている。この点にはタイ人との大きなビリーフの違いであると言える。
- (2) 次に挙げられた項目は 18 番で、両国の学習者が漢字学習について性別は関係がないと信じている。
- (3) また 40 番では、漢字の書き方の勉強について、タイ人学習者はやや好きであるが、フィリピン人学習者はタイ人より高く好きである。
- (4) 22 番を見れば、タイ人学習者は漢字を勉強しなくても日本の文化などが理解できると思っている。それに対して、フィリピン人学習者は漢字を勉強しなければ文化などの理解ができないと思っている傾向が見られる。
- (5) 39 番では漢字の読み方の勉強に関する項目である。タイ人は漢字の読み方の勉強は好きであるが、フィリピン人学習者と比較すれば、タイ人学習者より割合高く好きであるのが見られる。つまり、漢字の読み書きの勉強はフィリピン人の方がタイ人より好きだということである。
- (6) 11 番を見れば、タイ人学習者もフィリピン学習者も絵を上手に描く人は漢字を学ぶのが得意だとは信じていない。
- (7) 35 番と 12 番を見れば、両国の学習者は漢字を覚えるのは他の言語の綴り方を覚えるより簡単だとはあまり思っていない。また、漢字の読み書きは日本語学習の障害であるとも思っていない。
- (8) 漢字学習法について、フィリピン人学習者は漢字をきれいに書かなければならないと強くビリーフを持っている。しかし、タイ人は賛成の方へも不賛成の方へも偏らない。
- (9) 13 番はフィリピン人学習者のビリーフの下位 10 項目の中のみ現れている。フィリピン人学習者はネイティブ教師から漢字を習った方が一番いいとは思っていない。しかし、タイ人学習者はよいと思っている。

(10)最後に、タイ人学習者もフィリピン人学習者も漢字を学習するのが得意だと思っている。

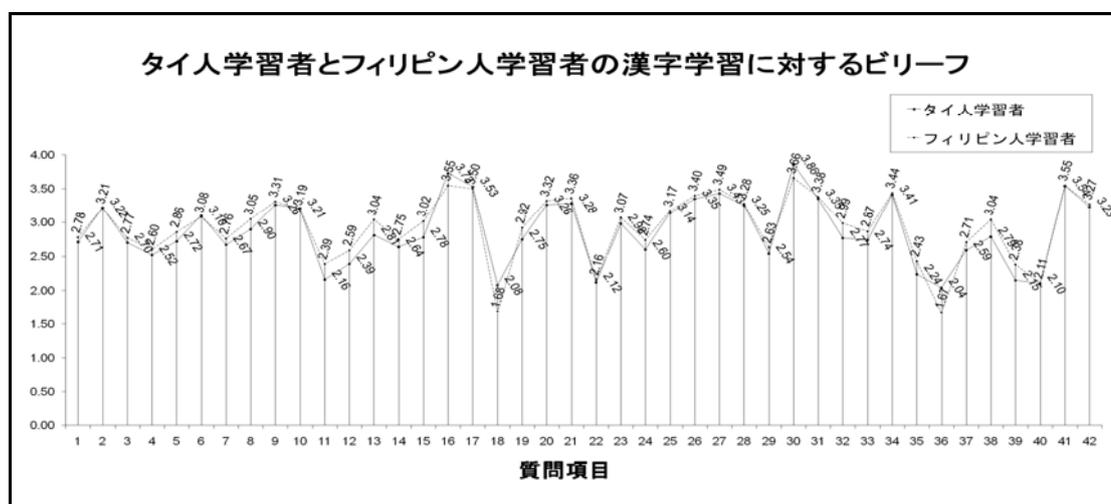


図7 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフ

注：「41」と「42」番はヴェントゥーラ（2007）のアンケートの SectionⅡの「C」と「B」番にあてはまる。

7.2 タイ人・フィリピン人学習者の漢字学習に対するストラテジー

7.2.1 タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジー（上位10項目）

表17 タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジー（上位10項目）

タイ人学習者					
順位	番号	ストラテジー	平均値	標準偏差	グループ
1	21	よく知らない漢字に振り仮名を振る。	3.38	0.802	認知学習
2	17	新しく習った漢字を覚えるために、それを繰り返して書く。	3.05	0.835	認知学習
3	24	似ている漢字の違いを観察する。	3.03	0.681	認知学習
4	23	知らない漢字の意味を文脈から推測する。	2.94	0.893	文脈学習
5	18	看板、本、雑誌などで既習漢字を探す。	2.89	0.868	文脈学習
6	7	知らない漢字を見つけたら、それを辞書で調べる。	2.84	0.926	補償学習
7	26	先生から習った漢字学習ストラテジーを利用する。	2.82	0.759	メタ認知学習
8	2	新しく習った漢字をできるだけ文章に試してみる。	2.79	0.792	文脈学習
9	8	漢字の音とイメージを組み合わせて、新しい漢字を覚える。	2.75	0.877	連想学習
10	15	漢字を一字一字ではなく、熟語の一部として覚える。	2.71	0.883	文脈学習
	11	新しく習った漢字の書き順を暗記する。	2.71	0.872	認知学習

表 18 フィリピン人学習者の漢字学習に対するストラテジー（上位 10 項目）

フィリピン人学習者					
順位	番号	ストラテジー	平均値	標準偏差	グループ
1	17	新しく習った漢字を覚えるために、それを繰り返して書く。	3.17	0.812	認知学習
2	16	新しく習った漢字の形を目で覚える。	3.12	0.721	認知学習ストラテジー
3	24	似ている漢字の違いを観察する。	3.00	0.769	認知学習ストラテジー
4	11	新しく習った漢字の書き順を暗記する。	2.95	0.878	認知学習
5	1	新しく習った漢字を既習仮名や漢字と関連付ける。	2.87	0.803	連想
6	4	既習漢字を意味でグループに分ける。	2.87	-	連想学習ストラテジー
7	26	先生から習った漢字学習ストラテジーを利用する。	2.77	-	メタ認知学習ストラテジー
8	18	看板、本、雑誌などで既習漢字を探す。	2.76	-	文脈学習ストラテジー
9	8	漢字の音とイメージを組み合わせて、新しい漢字を覚える。	2.72	-	連想学習ストラテジー
10	14	漢字の訓読みと音読みを同時に覚える。	2.69	-	連想

注：上位 6～10 位までの標準偏差のデータは入手されない。ヴェントゥーラ（2007）

表 17 を見ると、上位には「認知学習」、「文脈学習」に関するストラテジーが挙げられている。その中で、最も使用されているストラテジーは「認知学習」である。つまり、タイ人学習者は漢字を学習するのに繰り返して書いたり暗記したりして

次に、表 17 と表 18 を比較し、タイ人学習者とフィリピン学習者の類似点・相違点、また特徴を探る。

〈タイ〉漢字学習に対するストラテジーの上位に現れたグループは「認知学習（4つ；21, 17, 24, 11）」、「文脈学習（2つ；23, 18, 2, 15）」、「補償学習（1つ；7）」、「メタ認知学習（1つ；26）」、「連想学習（1つ、8）」である。

〈フィリピン〉フィリピンの結果では、「認知学習（4つ；17, 16, 24, 11）」、「連想学習（4つ；1, 4, 8, 14）」、「メタ認知学習（1つ；26）」、「文脈学習（1つ；18）」である。

※「項目（項目数；質問番号）」を示している、順位 10 番に 2 つ同じ値が現れる場合、双方用いる。

表 17 と表 18 を見ると、タイ人学習者とフィリピン人学習者とのストラテジーの相違点がさまざまに見られる。データにより言えることは、

- (1) 両国の学習者が「認知学習」を一番多く使用している。つまり、両国の学習者とも習った漢字を覚えるために繰り返して書いたり、漢字の違いを観察したり、漢字の書き順を暗記したりするストラテジーを使用している。
- (2) 「認知学習」の次に、タイ人学習者は「文脈学習」を多く使用しているが、フィリピン人学習者は「連想学習」を多く使用している。

- (3) タイ人学習者は常に知らない漢字に振り仮名を振るが、フィリピン人学習者はよほどカタカナを振らない。
- (4) フィリピン人学習者は新しく習った漢字を覚えるためにそれを繰り返して書く。このストラテジーもタイ人学習者がよく使用している。
- (5) フィリピン人学習者は新しく習った漢字の形を目で覚える。しかし、このストラテジーはタイ人はあまり使用していない。
- (6) 両国の学習者が同様によく使用するストラテジーは次の通りである。似ている漢字の違いを観察する、知らない漢字の意味を文脈から推測する、看板、本、雑誌などで既習漢字を探る、先生から習った漢字学習ストラテジーを利用する、新しく習った漢字をできるだけ文章に使ってみる、漢字の音とイメージを組み合わせ、新しい漢字を覚える、新しく習った漢字の書き順を暗記する、などである。
- (7) タイ人学習者は知らない漢字を見つけたら、それを辞書で調べるが、フィリピン人学習者はあまり辞書を利用しない。
- (8) 両国の学習者が漢字を一字一字ではなく、熟語の一部として覚えるというストラテジーをやや使用している。
- (9) フィリピン人学習者は新しく習った漢字を既習仮名や漢字と関連付けるが、タイ人はあまりしない。
- (10) フィリピン人学習者は既習漢字を意味でグループに分けるが、タイ人はほとんど使用していない。
- (11) その他に、タイ人学習者はあまり使用しないが、フィリピン学習者は若干使用するのは漢字の訓読みと音読みと同時に覚えるというストラテジーがある。

次に下位の順位から考察する。

表 19 タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジー（下位 10 項目）

タイ人学習者					
順位	番号	ストラテジー	平均値	標準偏差	グループ
26	5	既習漢字を音読みでグループに分ける。	1.74	0.772	連想学習
25	22	漢字を覚えるためにストーリーを作る。	1.83	0.988	連想学習
24	3	既習漢字を形でグループに分ける。	2.00	0.851	連想学習
23	6	新しく習った漢字をほかの言語と関連付ける。	2.16	0.980	連想学習
22	10	漢字を暗記する際、フラッシュカードを利用する。	2.18	1.052	認知学習
21	4	既習漢字を意味でグループに分ける。	2.20	0.913	連想学習
20	20	漢字を覚えるために、声を出しながら、それを繰り返して書く。	2.21	0.934	認知学習
19	9	漢字を初めて見たところ（ページ）などを記憶する。	2.25	0.962	連想学習
18	14	漢字の訓読みと音読みと同時に覚える。	2.30	0.855	連想学習
17	12	新しく習った漢字とその熟語をリストアップする。	2.31	0.959	連想学習

表 20 フィリピン人学習者の漢字学習に対するストラテジー（下位 10 項目）

フィリピン人学習者					
順位	番号	ストラテジー	平均値	標準偏差	グループ
26	10	漢字を暗記する際、フラッシュカードを利用する。	1.94	0.966	認知学習ストラテジー
25	22	漢字を覚えるためにストーリーを作る。	2.14	1.004	連想学習ストラテジー
24	5	既習漢字を音読みでグループに分ける。	2.21	0.863	連想学習ストラテジー
23	19	漢字を含む文章を繰り返し読んで、形と読み方を覚える。	2.33	0.838	認知学習ストラテジー
22	12	新しく習った漢字とその熟語をリストアップする。	2.38	0.908	連想学習ストラテジー
21	20	漢字を覚えるために、声を出しながら、それを繰り返して書く。	2.42	-	認知学習ストラテジー
20	7	知らない漢字を見つけたら、それを辞書で調べる。	2.43	-	補償学習ストラテジー
19	6	新しく習った漢字を他の言語と関連付ける。	2.50	-	連想学習ストラテジー
18	9	漢字を初めて見たところ（ページ）などを記憶する。	2.50	-	連想学習ストラテジー
17	21	よく知らない漢字に振り仮名を振る。	2.50	-	認知学習ストラテジー

注：下位 21～17 位までの標準偏差のデータは入手されない。ヴェントゥーラ（2007）

表 19 を見ると、下位には「連想学習」と「認知学習」に関するストラテジーが挙げられている。その中で、「認知学習」が一番多い。つまり、タイ人学習者は既習漢字を音読み・形でグループに分ける、漢字を覚えるためにストーリーを作るなどのストラテジーを使用していないことがわかる。

次に、表 19 と表 20 を比較し、タイ人学習者とフィリピン学習者の類似点・相違点、また双方の特徴を探る。

〈タイ〉漢字学習に対するストラテジーの下位に現れたグループは「連想学習（8つ；5, 22, 3, 6, 4, 9, 14, 12）」、「認知学習（2つ；10, 20）」である。

〈フィリピン〉フィリピンの結果では、「認知学習（4つ；10, 19, 20, 21）」、「連想学習（5つ；22, 5, 12, 6, 9）」、「補償学習（1つ；7）」である。

※「項目（項目数；質問番号）」を示している。

表 19 と表 20 を見ると、タイ人学習者とフィリピン人学習者とのストラテジーの相違点がさまざまに見られる。データにより言えることは、

- (1) 両国の学習者は同様のストラテジーをあまり使用していない。既習漢字を音読みでグループに分ける、漢字を覚えるためにストーリーを作る、新しく習った漢字を他の言語と関連付ける、漢字を暗記する際、フラッシュカードを利用する、漢字を覚えるために、声を出しながら、それを繰り返して書く、漢字を初めて見たところ

(ページ)などを記憶する、新しく習った漢字とその熟語をリストアップするというストラテジーである。

- (2) また、両国の学習者の違いはフィリピン人学習者であれば、既習漢字を形でグループに分けるが、タイ人学習者はそうしない。
- (3) その他に、タイ人は漢字を含む文章を繰り返し読んで、形と読み方を覚えるというストラテジーを利用している、フィリピン人は利用しない。

以上、漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用に関して、タイ人学習者とフィリピン人学習者との比較を行った。両国の学習者のビリーフやストラテジーの相違点がさまざまに見られた。

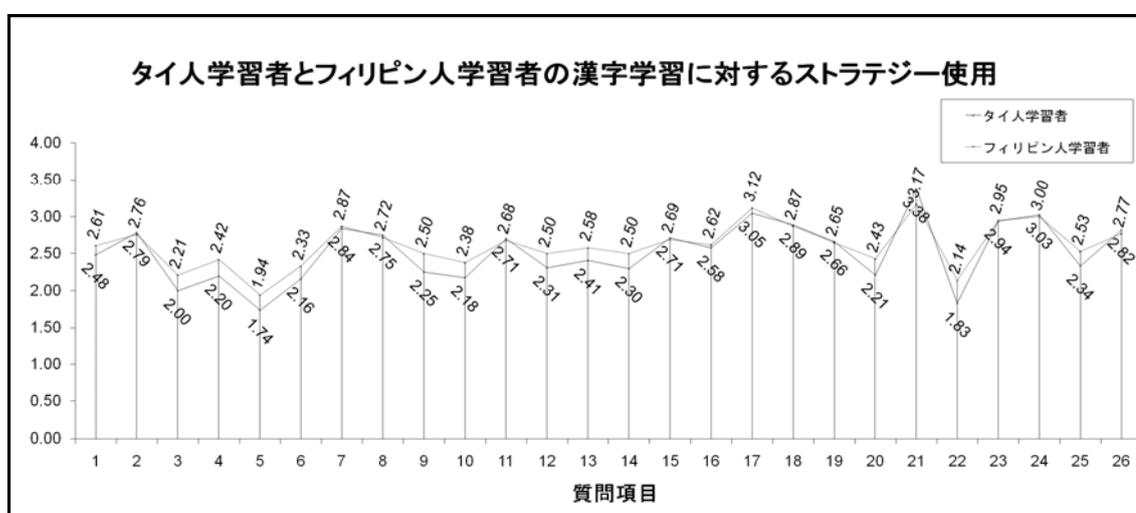


図8 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するストラテジー使用

7.3 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用の比較のまとめ

7.1 と 7.2 はタイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用を分析し対照した。これらの結果をまとめると次の通りである。

7.3.1 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフの比較のまとめ

7.3.1.1 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフの特徴

一番よく観察される特徴では、両国の学習者は教師の役割を非常に期待している。特に、タイ人学習者はフィリピン人学習者より期待している。自由記述のところには、タイ人学習者は、詳しく語源や漢字についての情報を教師に教えてもらいたいし、古い教え方は好きじゃないし、漢字の宿題がほしいなど書いた。

次の特徴では、タイ人学習者は漢字を利用して漢字熟語の意味の想像に使用できると強く思っている。

一方、フィリピン人学習者は漢字の読み書きがタイ人より好きであるし、漢字をきれいに書かなければならないと強くビリーフを持っている特徴が見られる。

7.3.1.2 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフの類似点

漢字学習に対するビリーフは両国が同様な傾向であることが明らかになった。

両国の学習者が「漢字学習法」が一番大切であることを信じ、漢字学習に対しては努力や練習の必要であると信じている。また、漢字学習が成功するかどうかは教師の役割による影響も少なくない。教師にさまざまな授業の工夫をしてもらいたいし、語源など詳しく指導すべきであると学習者が思っている。

次に、両国の学習者が漢字学習では性別や絵がよく描けることなどには関係ないと思っているが、中国語学習経験のある人であれば他の人より漢字を書くのが得意であると信じている。また、漢字を覚えるのは他の言語の綴り方を覚えるより簡単ではないが、漢字の読み書きは日本語学習の障害であることとは思っていない。

その他には、両国の学習者は自分の国の人が漢字を学習するのが得意だと思っている。

7.3.1.3 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフの相違点

両国の相違点は、まずタイ人学習者は現在、ワープロやパソコンがよく使われていても、漢字を勉強しなければならないと信じているが、フィリピン人学習者はパソコンなどを使えば、漢字を勉強しなくてもいいと考えている。

しかし、フィリピン人学習者はタイ人学習者より漢字の書き方の勉強が好きであるとわかるし、漢字をきれいに書かなければならないと強くビリーフを持っている。さらに、フィリピン人学習者は漢字を勉強しなければ、日本の文化などが理解できないと思っている傾向が見られる。この点では、タイ人学習者は反対に漢字を勉強しなくても日本の文化が理解できると思っている。

最後には、タイ人学習者はネイティブ教師から漢字を習った方がいい信じているが、フィリピン人学習者はそう思っていない。

7.3.2 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する戦略 使用の比較のまとめ

7.3.2.1 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する 戦略の特徴

両国の学習者が「認知学習」を一番多く使用している特徴が見られる。漢字を学習するのに、この戦略は普遍的ではないかと思われる。また、タイ人学習者は「認知学習」と「文脈学習」をよく使用しているのに対し、フィリピン人学習者は「認知学習」と「連想学習」をよく使用している。

次に、フィリピン人学習者が最も使用している戦略は「新しく習った漢字を覚えるためにそれを繰り返して書く」である。タイ人学習者の場合も、この戦略を多く使用するが、最も利用しているのは「よく知らない漢字に振り仮名を振る」戦略である。

フィリピン人学習者の他の特徴には、新しく習った漢字の形を目で覚えたり、既習漢字を意味・形でグループに分けたりすることがあった。

7.3.2.2 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する 戦略の類似点

両国の学習者が「認知学習」を一番多く使用している。つまり、漢字を覚えるために頻度高く繰り返して書いたり、漢字の違いを観察したり、漢字の書き順を暗記したりする戦略を使用している。

また、両国の学習者が同様によく使用する戦略には、漢字の違いを観察する、知らない漢字の意味を文脈から推測する、看板、本、雑誌などで既習漢字を探す、先生から習った漢字学習戦略を利用する、新しく習った漢字をできるだけ文章に使ってみる、漢字の音とイメージを組み合わせ、新しい漢字を覚える、新しく習った漢字の書き順を暗記するなどがある。

そして、両国の学習者が同様にあまり使用しない戦略には、既習漢字を音読みでグループに分ける、漢字を覚えるためにストーリーを作る、新しく習った漢字を他の言語と関連付ける、漢字を暗記する際、フラッシュカードを利用する、漢字を覚えるために、声を出しながら、それを繰り返して書く、漢字を初めて見たところ（ページ）などを記憶する、新しく習った漢字とその熟語をリストアップするなどがある。

7.3.2.3 タイ人学習者とフィリピン人学習者の漢字学習に対する ストラテジーの相違点

両国の学習者が使用するストラテジーの相違点は、次の通りである。

まず、タイ人学習者は「文脈学習」を多く使用しているが、フィリピンは「連想学習」を多く使用している。また、タイ人学習者の最も使用しているストラテジーは、「よく知らない漢字に振り仮名を振る」が、このストラテジーではフィリピン人学習者は中の程度で使用している。

次に、フィリピン人学習者は「新しく習った漢字の形を目で覚える」というのが現れている。しかし、このストラテジーはタイ人にはあまり使用されていない。

また、タイ人学習者が知らない漢字を見つけたら、それを辞書で調べることをするが、フィリピン人学習者はあまり辞書を利用しない。反対に、フィリピン人学習者が、新しく習った漢字を既習仮名や漢字と関連付けるが、タイ人はあまりしないのである。

さらに、フィリピン人学習者が、既習漢字を意味・形でグループに分けるが、タイ人学習者はほとんど使用していない。

7.4 タイ人・フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフと ストラテジー使用の相関関係

7.4.1 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関

表 21 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関係数

ビリーフ	社会・伝 統・文化 的な評価	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の 役割	漢字 学習法
社会・伝統・ 文化的な評価	1						
難しさ	0.069	1					
適性	0.089	0.005	1				
有効性	0.392**	0.106	0.288**	1			
情意面	0.058	0.011	0.151*	0.142*	1		
教師の役割	0.223**	0.118	0.164*	0.213**	0.113	1	
漢字学習法	0.264**	-0.039	0.272**	0.309**	0.129	0.095	1

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$ (両側)

表 22 フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフの領域間の相関係数

ビリーフ	社会・伝統・文化的な評価	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の役割	漢字学習法
社会・伝統・文化的な評価	1						
難しさ	0.024	1					
適性	0.174*	0.026	1				
有効性	0.303**	-0.108	0.187**	1			
情意面	0.167*	-0.212**	-0.050	0.506**	1		
教師の役割	0.290**	0.091	0.317**	0.415**	0.284**	1	
漢字学習法	0.291**	-0.036	0.195**	0.449**	0.335**	0.498**	1

*p<0.05, **p<0.01 (両側) (ヴェントゥーラ (2007))

表 21 と表 22 を比較すれば、漢字学習のビリーフについて、タイ人学習者のビリーフにはほとんど相関が見られない。しかし、フィリピン学習者には「有効性」と「情意面」「教師の役割」「漢字学習法」間との相関が見られるし、「教師の役割」と「漢字学習法」間との相関も見られる。

次はストラテジーの相関を考察してみる。

表 23 タイ人学習者の漢字学習に対するストラテジーの領域間の相関係数

ストラテジー	文脈学習	連想学習	認知学習	メタ認知学習	補償学習
文脈学習	1				
連想学習	0.617**	1			
認知学習	0.673**	0.767**	1		
メタ認知学習	0.451**	0.582**	0.585**	1	
補償学習	0.382**	0.360**	0.378**	0.291**	1

*p<0.05, **p<0.01 (両側)

表 24 フィリピン人学習者の漢字学習に対するストラテジーの領域間の相関係数

ストラテジー	文脈学習	連想学習	認知学習	メタ認知学習	補償学習
文脈学習	1				
連想学習	0.521**	1			
認知学習	0.558**	0.579**	1		
メタ認知学習	0.503**	0.510**	0.558**	1	
補償学習	0.249**	0.299**	0.263**	0.151**	1

*p<0.05, **p<0.01 (両側) (ヴェントゥーラ (2007))

表 23 を見ると、「補償学習」を除けば、タイ人学習者のストラテジーが非常に相関関係があることがわかる。特に「連想学習」と「認知学習」間との相関は高い。その次に、「文脈学習」と「認知学習」間、「文脈学習」と「連想学習」間、「連想学習」と「メタ認知学習」間、「認知学習」と「メタ認知学習」間との順番がある。また、表 24 を見れ

ば、タイ人学習者のストラテジー使用の相関関係はフィリピン人学習者より全体的に高いことが明らかである。

まず、一番高い相関では「連想学習」と「認知学習」間である。つまり、タイ人学習者は漢字が覚えられるように、何度も繰り返して書いたり、読んだり、見たりしながら、自分が知っているものと結び付けようとしたり、分類したりとするストラテジーを使用している。自由記述のところにも、漢字をよく書くのが一番多く回答が現れ、次に、漢字のイメージを作り、漢字の意味を予測するという答も多くあった。そして、漢字の部分、読み方などの分類というストラテジーも使用されている。その他には漢字を書いてよく通るところに貼っておくこともある。

次に、「文脈学習」と「連想学習」「認知学習」「メタ認知学習」間の相関がある。特に、「文脈学習」と「連想学習」「認知学習」間の相関が高い。つまり、タイ人学習者は上記述べた「連想学習」と「認知学習」間の次に「文脈学習」を含めて漢字を覚えることがわかる。また「メタ認知学習」を加え、要するに、復習をし、教師の指導に従って学ぶという複数のストラテジーを使用することが明らかである。

表 25 タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジーの相関係数

ビリーフ ストラテジー	社会・伝 統・文化 的な評価	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の 役割	漢字 学習法
文脈学習	0.124	0.005	0.078	0.108	-0.044	0.102	0.086
連想学習	0.120	-0.009	0.039	0.177*	-0.065	0.027	0.058
認知学習	0.167*	-0.017	0.032	0.176*	-0.034	0.119	0.089
メタ認知学習	0.120	0.030	-0.047	0.209**	-0.047	0.120	0.092
補償学習	-0.040	0.002	0.037	0.016	-0.154*	0.051	-0.033

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$ (両側)

表 26 フィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジーの相関係数

ビリーフ ストラテジー	社会・伝 統・文化 的な評価	難しさ	適性	有効性	情意面	教師の 役割	漢字 学習法
文脈学習	0.203**	-0.076	-0.027	0.367**	0.366**	0.139*	0.179**
連想学習	0.257**	-0.032	0.074	0.261**	0.268**	0.248**	0.336**
認知学習	0.126	-0.065	-0.089	0.277**	0.377**	0.174*	0.301**
メタ認知学習	0.199**	-0.001	-0.100	0.317**	0.414**	0.129	0.287**
補償学習	-0.106	0.172*	-0.044	0.173*	0.214**	0.090	-0.142*

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$ (両側) (ヴェントゥーラ (2007))

表 25 と表 26 を見れば、漢字学習に対するビリーフとストラテジーはフィリピン人学習者のほうは相関が見られるが、タイ人学習者のほうは相関が非常に低い。また、フィリピン人学習者のビリーフとストラテジー使用の相関には有意性が見られる。

7.5 タイ人学習者とフィリピン学習者の比較の結果のまとめ

漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用の相関を考察した結果、フィリピン人学習者はビリーフ間の相関、ストラテジー間の相関、ビリーフとストラテジー間の相関に相関関係が見られる。ところが、タイ人学習者の場合、ビリーフ間、ビリーフとストラテジー間には事情に弱い相関しかなく、ストラテジー間にしか相関が認められなかった。ビリーフ間に相関が見られないのは、タイ人学習者がそれぞれ個人のビリーフを持っていることがわかる。また、ビリーフとストラテジーの相関がないことは、タイ人学習者が持っているビリーフと実際に使用しているストラテジーとの関係がない。つまり、信じることを、それを生かして実行を行わず、行っていることは別のものである。

ところで、タイ人学習者のストラテジー間の相関をフィリピン人学習者のストラテジー間の相関と比較すると、全体的にタイ人学習者のストラテジー間の相関のほうが高い。特に、「連想学習」と「認知学習」との相関関係は 0.767 と高い。この点ではタイ人学習者は「連想学習」と「認知学習」ストラテジーを一緒に使用していることがほかのストラテジーより最も多いことは明らかになっている。

8. 終わりに

本研究はタイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用を調べ、大学生と日本語学校生のビリーフとストラテジー使用を分析した。また、フィリピン人学習者との比較を行った。結果として、大学生と日本語学校生のビリーフ及びストラテジー使用は差異が現れ、仮説(1)通りであった。漢字学習順序の大切さについては大学生と日本語学校生のビリーフは異なった。つまり、漢字学習に関わる一番大切なことは大学生では「書き順」であるが、日本語学校生では「漢字の意味」であった。

タイ人学習者と先行研究のフィリピン人学習者の漢字学習に対するビリーフやストラテジー使用の比較でも大きな違いが見られなかった。両国は概ね類似しておりながら、多少相違点がみられた。即ち、仮説(2)と(3)の通りであった。

以上、タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジーを考察した。今後の課題は教師側も調査し、学習者のビリーフとどのどのような関連があるかも検討すべきである。学習者・教師双方から得られた、ビリーフやストラテジー、漢字学習に対して持っている学習法・教育法の情報はタイの漢字教育への改善に役立つと信じている。本小論文から得られた知見が少しでもタイの漢字教育に役立てられればと思う。

注

- 1 Atchara (2008) は、タイ人学習者のビリーフの特徴は①教師の属性に関して、学習者は経験が長い教師に習うのがよいとのビリーフを強く持っており、②教師の行動に関して教師に言語の知識をはじめ、外国の問題点、自分の生活に至るまで、教えてもらうことを期待した、③タイ人学習者は外国語を学習する際、ネイティブ教師に習うのが一番良く、教師は欠かせないものであると考えており、教師に依存する傾向が極めて高い。それにも関わらず、教師の考えに賛成できない場合は自分の考えの通り

にするというピリーフも持っているだと述べた。

- 2 Somporn (2005)はタイの大学と日本の大学の指導法を比較した。タイにおける大学の特徴は文法の構造などを中心に教えることがわかった。特に文法訳読法をよく利用されており、学習者の問題は漢字が読めないことと話す自信がないことである。一方、日本における大学は日本語のみ使用するのが多い。つまり、直接方を使い、具体的なものから指導をはじめ、最初に話させ、次に聞き取り、読み書きになる。教師、学習者ともに教育上問題がほとんどない。カリキュラムに関して、タイの大学は一般的な内容を網羅するのに対し、日本の大学は実際に使えるものを中心に教える差異がみられる。
- 3 Somchai (2008)の漢字に関する意識調査の結果はタイ人学習者が漢字の読み方について一番問題だと意識していた。これはSomporn (2005)の結果と一致した。読み方の次に書き方、意味、覚え方の問題であった。
- 4 学習ストラテジーに関して、迫田 (2006)の『日本語教育に生かす第二言語習得研究』の中には下記の通りである。
 - (1) 記憶ストラテジー：さまざまな方法で覚えることによって学習を進める方法である。句型練習も単語カードを作って練習するなど。
 - (2) 認知ストラテジー：習った項目を実際に使って繰り返し練習したり、自分に理解しやすく項目を分析したり、ノートをとったり、重要なところに下線やマーカーで印を付けたりするストラテジーである。
 - (3) 補償ストラテジー：学習者が外国語を理解したり、発話したりする際に足りない知識を補うために用いるストラテジーである。
 - (4) メタ認知ストラテジー：認知ストラテジーのさらに上の段階で用いられるストラテジーで、学習者が認知するために調整するさまざまな方法を指し、計画したり評価したりすることである。
 - (5) 情意ストラテジー：感情・態度に関係するストラテジーで、学習者がくつろいで、不安のない状態で学習するように心掛けるストラテジーである。
 - (6) 社会的ストラテジー：人との交流によって学習を進めるという方法である。
 - (7) 言語処理のストラテジー：意識的・無意識的にかかわらず、学習者が目標言語を覚えたり、使ったりする際にどのように言語処理をするかという方法である。

謝 辞

最後に、この小論文を支援し、貴重なアドバイスや御指導をしてくださった、石橋玲子先生、中山英治先生、上原聡先生に心よりお礼を申し上げたい。また、常に応援してくださった、(片桐)カノックワン・ラオハブラナキット先生、ウォラウト・チラソンバット先生にも謝意を表したい。さらに、この小論文は大学の先生方、日本語学校の先生方、大学生と日本語学校生のご協力なしにはまとめることができなかつただろう。この場をかりて御礼申し上げる。

参考文献

- (1) 板井美佐 (2000) 「中国人学習者の日本語学習に対する BELIEFS について—香港 4 大学のアンケート調査から—」『日本語教育』第 104 号、日本語教育学会、pp. 69-78.
- (2) ヴェントゥーラ, フランチェスカ (2007) 「フィリピン人日本語学習者と教師の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用—漢字教育の改善のために—」『日本語文化研究会論集』第 3 号、国際交流基金日本語国際センター、pp. 141-168.
- (3) 大北葉子 (1995) 「漢字学習ストラテジーと学生の漢字学習に対する信念」『世界の日本語教育』第 5 号、国際交流基金日本語センター、pp. 105-123.
- (4) 片桐準二 (2005) 「フィリピンにおける日本語学習者の言語学習 Beliefs—フィリピン大学日本語受講生調査から—」『国際交流基金日本語教育紀要』第 1 号、国際交流基金、pp. 85-101.
- (5) 迫田久美子 (2006) 『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク、大日本印刷株式会社、pp. 109-112.
- (6) 高崎美千代 (2006) 「フィリピン・マニラ首都圏の大学における日本語学習者のビリーフ—歴史的・社会的背景の視点からの考察—」『国際交流基金日本語教育紀要』第 2 号、国際交流基金、pp. 65-80.
- (7) 横山詔一 (2006) 「文字コミュニケーションにおける異体字の選好と親近度—再調査法による信頼性の検討—」『社会言語学科』第 9 号、pp. 16-26.
- (8) 若井誠二・山澤和宏 (2004) 「ハンガリー人日本語学習者のビリーフス」『日本語国際センター紀要』第 14 号、国際交流基金日本語国際センター、pp. 123-140.
- (9) 和田衣世 (2007) 「スリランカの大学生の言語学習ビリーフから日本語教育の改善を考える」『日本語教育紀要』第 3 号、国際交流基金、pp. 13-28.
- (10) Atchara, A. (2008) 「外国語教師の役割に関するタイ人日本語学習者のビリーフ—大学における日本語主専攻を対象として—」『日本語教育国際シンポジウム「東南アジアにおける日本語教育の展望」 *International Symposium on The Prospect of Japanese Language Education in Southeast Asia* 2008 年 10 月 16 日～17 日』. Bangkok: Thammasat University, pp. 92-96.
- (11) Chorladda, W. (2006) *A Study of Kanji Learning Strategies of Students at Taweethapisek school*. Bangkok: Thammasat University.

- (12) Horwitz, Elaine K. (1987) Surveying Student Beliefs About Language Learning. In A. Wenden and J. Rubin (eds.) *Learner Strategies in Language Learning*. London: Prentice-Hall, pp.119-129.
- (13) M. Nyikos and R. Oxford. 1993. A factor analytic study of language-learning strategy use: Interpretations from information-processing theory and social psychology. *Modern Language Journal*, pp.11-22.
- (14) Oxford, R. L. (1990) *Language learning strategies: What every teacher should know*. Boston: Heinle.
- (15) Shimizu, H. (1999) *Language teachers' attitudes towards teaching kanji in the Japanese language curriculum*. Doctoral Dissertation: University of Denver.
- (16) Somchai, C. (2008) 「タイ国内における初級タイ人学習者の漢字意識」 『日本語教育国際シンポジウム「東南アジアにおける日本語教育の展望」 *International Symposium on The Prospect of Japanese Language Education in Southeast Asia* 2008年10月16日～17日』. Bangkok: Thammasat University, pp.50-54.
- (17) Somporn G. (2005) *The Comparative Study of Teaching Culture on Japanese as the second Language between Thai Universities and Japanese Universities*: Dhurakijpundit Universities.

付録

<資料1：漢字学習に対するビリーの質問項目と分類：ヴェントウーラ（2007）（一部変更）>

① 漢字の社会・伝統・文化的な価値に関するビリーフ

番号	ビリーフ
5	漢字を理解するために日本の文化を知る必要がある。
22	漢字を勉強しないと日本の文化を完全に理解できない。
32	タイ/フィリピンは日本と文化・政治・経済的な関係を持っているため、漢字を勉強する必要がある。

② 漢字の難しさに関するビリーフ

番号	ビリーフ
42	漢字の難しさ。
12	漢字の読み書きは日本語学習の障害となっている。
29	教師がいなくても漢字を自習できる。
35	漢字を覚えるのはほかの言語の綴り方を覚えるより簡単だ。

③ 適性に関するビリーフ

番号	ビリーフ
1	40歳以上の大人にとって漢字学習は困難だ。
2	漢字を学習するための特別な能力を持っている人がいる。
3	タイ人/フィリピン人は漢字を学習するのが得意だ。
8	中国語学習経験のある学生はほかの人より漢字を読むのが得意だ。
9	中国語学習経験のある学生はほかの人より漢字を書くのが得意だ。
10	中国語学習経験のある学生はほかの人より漢字の意味を覚えるのが得意だ。
11	絵を描くのが上手な人は漢字を学ぶのが得意だ。
18	女性は男性より漢字の読み書きを勉強するのが得意だ。

④ 漢字の有効性に関するビリーフ

番号	ビリーフ
41	漢字を勉強することは大切だ。
17	日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない。
19	漢字の読み書きができると、仕事場や学校などの周りの人に尊敬される。
20	漢字で書かれた単語の意味を想像できると、日本語がもっと分かりやすくなる。
23	漢字の読み書きができるといい仕事に就ける。
24	漢字ができると日本・日本社会で生活しやすくなる。
36	現在、ワープロやパソコンがよく使われているので、あまり漢字を勉強する必要はない。

⑤ 情意面に関するビリーフ

番号	ビリーフ
14	漢字の読み方を勉強するのが楽しい。
15	漢字の書き方を勉強するのが楽しい。
28	（先生）は漢字の読み方を教えるのが好きだ。
39	漢字の読み方を勉強するのが好きではない。
40	漢字の書き方を勉強するのが好きではない。

⑥ 教師の役割に関するビリーフ

番号	ビリーフ
13	ネイティブ教師から漢字を習った方が一番いい。
21	漢字を教える際に、教師は工夫して、様々な教授法を使用しなければならない。
26	教師は漢字の意味や語源などを詳しく説明する必要がある。
27	教師は本やウェブサイトのようなリソースを紹介するべきだ。
31	教師は学生に宿題や練習を与えるべきだ。
34	漢字の勉強を面白くするために教師はゲームやゲーム的な教室活動を利用すべきだ。

⑦ 漢字学習法に関するビリーフ

番号	ビリーフ
4	漢字をきれいに書かなければならない。
6	漢字の書き順に注意を払わなければならない。
7	間違えそうなら、漢字を使わない方がいい。
16	努力すれば、漢字学習に成功する。
25	漢字を学習するということは主に語彙を増やすことだ。
30	漢字を勉強するとき練習と復習は欠かせない。
33	漢字を書く能力より、漢字を読む能力の方が大切だ。
37	漢字を学習する際、音読みを覚えるのが大切だ。
38	漢字を学習する際、訓読みを覚えるのが大切だ。

<資料 2 : 漢字学習に対するストラテジーの質問項目と分類 : ヴェントゥーラ (2007) >

① 文脈学習ストラテジー

番号	ストラテジー
2	新しく習った漢字をできるだけ文章に使ってみる。
15	漢字を一字一字ではなく、熟語の一部として覚える。
18	看板、本、雑誌などで既習漢字を探す。
23	知らない漢字の意味を文脈から推測する。

② 連想学習ストラテジー

番号	ストラテジー
1	新しく習った漢字を既習仮名や漢字と関連付ける。
3	既習漢字を形でグループに分ける。
4	既習漢字を意味でグループに分ける。
5	既習漢字を音読みでグループに分ける。
6	新しく習った漢字を他の言語と関連付ける。
8	漢字の音とイメージを組み合わせて、新しい漢字を覚える。
9	漢字を初めて見たところ (ページ)などを記憶する。
12	新しく習った漢字とその熟語をリストアップする。
14	漢字の訓読みと音読みと同時に覚える。
22	漢字を覚えるためにストーリーを作る。

③ 認知学習ストラテジー

番号	ストラテジー
10	漢字を暗記する際、フラッシュカードを利用する。
11	新しく習った漢字の書き順を暗記する。
13	既習漢字をよく復習する。
16	新しく習った漢字の形を目で覚える。
17	新しく習った漢字を覚えるために、それを繰り返して書く。
19	漢字を含む文章を繰り返して読んで、形と読み方を覚える。
20	漢字を覚えるために、声を出しながら、それを繰り返して書く。
21	よく知らない漢字に振り仮名を振る。
24	似ている漢字の違いを観察する。

④ メタ認知学習ストラテジー

番号	ストラテジー
25	自分の漢字学習について考える。
26	先生から習った漢字学習ストラテジーを利用する。

⑤ 補償学習ストラテジー

番号	ストラテジー
7	知らない漢字を見つけたら、それを辞書で調べる。

<資料3：漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用のアンケート（学習者用）：
ヴェントゥーラ（2007）『日本語文化研究会論集』pp. 162-164>

資料2：学習者用アンケート

Dear Respondent:

I am currently conducting a survey on the beliefs and strategy usage of Filipino teachers and students of the Japanese language. In line with this, I would greatly appreciate it if you could take some time to answer the questionnaire below. Rest assured that all information gathered here will remain confidential and will be used exclusively for the purposes of this research.

Thank you very much for your cooperation.

Sincerely yours,

Francesca M. Ventura

Name (optional): _____ Age: _____ Sex: Male / Female

E-mail address (optional): _____ Occupation: _____

Name of the school where you are currently studying Japanese: _____

Name of the course/level you are currently enrolled in: _____

Kanji Textbook: _____ Current Chapter: _____

Section I

Please mark the most appropriate answer with an x.

1. Highest educational attainment

- () High School () College → Major: _____
 () Vocational School () Graduate School → Major: _____

2. How long have you studied Japanese?

- () Less than a year () 5-6 years () More than 10 years
 () 1-2 years () 7-8 years
 () 3-4 years () 9-10 years

3. At what institutions have you studied Japanese?

Inclusive Dates	School and Location	Course Title/Level

4. What are your reasons for studying Japanese? (You may pick more than one answer.)

- () I like studying foreign languages.
 () I am interested in traditional Japanese culture.
 () I am interested in Japanese pop culture (Anime, Manga, J-Pop, etc.)
 () I want to make friends with Japanese nationals.
 () I have relatives in Japan.
 () One of my parents is Japanese.
 () My spouse is Japanese.
 () My boyfriend/girlfriend is Japanese.
 () I want to work in Japan.
 () I want to work for a Japanese company in the Philippines.
 () My job requires me to have at least some knowledge of Japanese.
 () I want to study in Japan.
 () I am constantly exposed to Japanese nationals.
 () Other reason/s: _____

5. What are your goals for learning Japanese? (You may pick more than one answer.)
 I want to pass the Japanese Language Proficiency Test (What level? 3).
 I want to speak Japanese fluently.
 I want to be able to read newspapers, magazines and books in Japanese.
 I want to be able to write Japanese characters.
 I want to be able to write letters and reports in Japanese.
 Other goals: _____

6. Have you ever been to Japan?
 Yes. For how long? _____ For what reason? _____
 No.

7. What level is your Japanese?
 Elementary Intermediate Advanced

8. Do you often see or come in contact with Chinese characters or Kanji?
 Yes
 No

9. What is the approximate number of kanji you can read?

10. What is the approximate number of kanji you can write?

11. What is your mother tongue (your first language)?
 Filipino English Other (Pls. specify: _____)
 Chinese Spanish

12. What foreign languages have you studied?

	Foreign Language	Length of time studied	Level (Please indicate with an x.)		
			Elementary	Intermediate	Advanced
1					
2					
3					

13. Do you speak any other languages or dialects? Please list them down below.

14. Are you of Chinese descent?
 Yes
 No

15. Did you study Chinese characters before learning Japanese?
 Yes
 No

Section II

- A. Please rank the following according to their importance in the study of kanji.
 (1 being the most important and 4 being the least important)

	Variable	Rank
A	Meaning	
B	Kun-yomi (native Japanese reading of the kanji)	
C	On-yomi (reading of kanji adapted from Chinese)	
D	Stroke order	

B. Kanji is: (please mark one box with an x)

A	Very difficult	
B	Difficult	
C	Of medium difficulty	
D	Easy	

C. Studying kanji is: (please mark one box with an x)

A	Very important	
B	Important	
C	Not that important	
D	Unnecessary	

D. Please read each statement and mark the box that best reflects your beliefs with an x.

		Strongly Agree	Agree	Disagree	Strongly Disagree
1	It is harder for adults over the age of 40 to learn how to read and write kanji.				
2	Some people have a natural ability for learning kanji.				
3	People from my country are good at learning kanji.				
4	It is important to write kanji beautifully.				
5	It is necessary to know about Japanese culture in order to appreciate kanji.				
6	It is important to pay attention to stroke order when writing kanji.				
7	It is better to avoid using kanji characters if you are not sure you can write them correctly.				
8	Students who have a background in Chinese are better at reading in Japanese.				
9	Students who have a background in Chinese are better at writing kanji.				
10	Students who have a background in Chinese are better at remembering the meaning of kanji.				
11	People who are good at drawing are good at learning kanji.				
12	Learning how to read and write kanji is an obstacle to learning the Japanese language.				
13	It is best to learn kanji from a Japanese national.				
14	Learning how to read kanji is fun.				
15	Learning how to write kanji is fun.				
16	I can become proficient in reading and writing kanji if I study hard enough.				
17	Learning kanji will help me raise my proficiency level in Japanese.				
18	Women are better than men at learning kanji.				
19	Knowing how to read and write kanji will help me gain the respect of others at work and at school.				
20	It is easier to understand words written in kanji because you can guess the meanings of particular words.				
21	Teachers should use a variety of methods when teaching kanji.				
22	One cannot completely understand Japanese culture without knowing kanji.				

		Strongly Agree	Agree	Disagree	Strongly Disagree
23	Knowing how to read and write kanji increases the possibility of finding a good job.				
24	The ability to read and write kanji makes it easier for foreigners to adjust to Japanese society/deal with Japanese nationals.				
25	Learning kanji is mainly a matter of learning vocabulary words.				
26	Teachers should explain new kanji in detail (meaning, origin, etc.).				
27	Teachers should introduce resources (books, web sites, etc.) and strategies for learning kanji to their students.				
28	My teacher enjoys teaching us how to read and write kanji.				
29	One can learn kanji without the aid of a teacher.				
30	Regular practice and constant review are important in the study of kanji.				
31	Teachers should give students kanji drills and assignments.				
32	It is important to study kanji because my country has close (economic, political, cultural) ties with Japan.				
33	It is more important to be able to read kanji than to write it.				
34	Teachers should use games and other activities to make their kanji classes more interesting.				
35	It is easier to learn how to write in kanji than it is to learn how to spell in other languages.				
36	It is not that important to learn how to write in kanji nowadays since more people tend to use computers and word processors instead.				
37	When studying kanji, it is important to memorize their on-yomi (reading adapted from Chinese).				
38	When studying kanji, it is important to memorize their kun-yomi (native Japanese reading).				
39	I don't like learning how to read kanji.				
40	I don't like learning how to write in kanji.				

Section III

Read the following statements and mark the box that indicates how often you use the following strategies with an x.

		Always	Often	Sometimes	Never
1	I try to associate newly learned kanji with kana and kanji I already know.				
2	I try to use newly learned kanji as much as possible (in sentences and compositions).				
3	I try to classify kanji I know by shape.				
4	I try to classify kanji I know by meaning.				
5	I try to classify kanji I know by their on-yomi.				
6	I associate the reading of newly learned kanji with familiar words in other languages or dialects (English, Filipino, etc.).				

		Always	Often	Sometimes	Never
7	When I encounter kanji I do not know, I look them up in the dictionary right away.				
8	I use a combination of sounds and images to remember newly introduced kanji.				
9	I try to remember what page or what place I first saw a particular character.				
10	I use flashcards when trying to memorize kanji.				
11	I memorize the stroke order of each kanji character I learn.				
12	I list up newly learned kanji and compound words containing these kanji.				
13	I regularly review kanji characters I have learned.				
14	I try to remember the kun-yomi and on-yomi of Newly-learned kanji at the same time.				
15	I try to remember newly-learned kanji as part of compound words rather than isolated characters.				
16	I memorize newly-learned kanji by trying to remember what they look like.				
17	I memorize newly-learned kanji by writing them repeatedly.				
18	I try to look for kanji I have learned in signs, books, magazines and other places.				
19	I read passages containing newly-learned kanji several times so that I can remember what they look like and how they are read.				
20	I memorize the readings of newly-learned kanji by reading them aloud while writing them.				
21	I write the reading of unfamiliar kanji beside or on top of each character to help me remember.				
22	I memorize kanji by making up stories that will help me remember them.				
23	I try to guess the meaning of unfamiliar kanji with the use of context clues.				
24	I take note of differences between kanji that look alike.				
25	I think about my kanji learning process and try to evaluate my learning.				
26	I use kanji learning strategies introduced by my teacher.				

- Do you use any other strategies when studying kanji? If you do, please list them down in the space provided below.

- How do you feel about studying kanji or about kanji characters themselves? Please feel free to write any comments, suggestions or opinions in the space provided below.

Thank you very much for your cooperation !!!

<資料 4 : タイ人用漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用のアンケート>

แบบสอบถามเกี่ยวกับความเชื่อและกลยุทธ์ในการเรียนคันจิ								
เหตุผลที่เรียนภาษาญี่ปุ่น		เพศ	<input type="checkbox"/> ชาย	<input type="checkbox"/> หญิง				
ชื่อ-นามสกุล		ผ่านระดับภาษาญี่ปุ่น (ถ้ามี)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4				
<p>แบบสอบถามนี้มีจุดประสงค์เพื่อศึกษา “ความเชื่อและกลยุทธ์ในการเรียนคันจิของผู้เรียนชาวไทย” โดยจะนำข้อมูลที่ ได้มาใช้เป็นแนวทางในการปรับปรุงการเรียนการสอนให้ดียิ่งขึ้น ข้อมูลส่วนบุคคลจะถูกเก็บเป็นความลับและใช้เพื่อ งานวิจัยเท่านั้น ผู้ทำวิจัยขอขอบคุณท่านที่ช่วยสละเวลา และให้ความร่วมมือในการตอบคำถามเป็นอย่างยิ่ง *** อนึ่ง แบบสอบถามนี้ ไม่เกี่ยวข้องกับการให้คะแนนในชั้นเรียนแต่อย่างใด กรุณาตอบตามความรู้สึกจริงของท่าน ***</p> <p>กรุณา <input type="radio"/> หัวข้อที่ท่านเห็นว่าตรงกับความรู้สึกในการเรียนคันจิของท่าน</p>								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">เห็นด้วยอย่างยิ่ง</td> <td style="width: 25%;">เห็นด้วย</td> <td style="width: 25%;">ไม่เห็นด้วย</td> <td style="width: 25%;">ไม่เห็นด้วยอย่างยิ่ง</td> </tr> </table>					เห็นด้วยอย่างยิ่ง	เห็นด้วย	ไม่เห็นด้วย	ไม่เห็นด้วยอย่างยิ่ง
เห็นด้วยอย่างยิ่ง	เห็นด้วย	ไม่เห็นด้วย	ไม่เห็นด้วยอย่างยิ่ง					
		เห็นด้วย อย่างยิ่ง	เห็นด้วย	ไม่เห็น ด้วย	ไม่เห็นด้วย อย่างยิ่ง			
1	คนที่อายุ 40 ปีขึ้นไปจะเรียนอ่านเขียนคันจิได้ยากกว่า	4	3	2	1			
2	บางคนมีความสามารถพิเศษในการเรียนคันจิ	4	3	2	1			
3	คนไทยสามารถเรียนคันจิได้ดี	4	3	2	1			
4	สิ่งสำคัญคือต้องเขียนคันจิให้สวย ๆ	4	3	2	1			
5	การรู้วัฒนธรรมญี่ปุ่นเป็นปัจจัยสำคัญที่จะทำให้เข้าใจคันจิ	4	3	2	1			
6	สิ่งสำคัญคือต้องระวังเรื่องลำดับเส้นในการเขียนคันจิ	4	3	2	1			
7	ถ้าไม่แน่ใจว่าเขียนคันจิได้ถูก ควรเลี่ยงไม่เขียนตัวคันจิดีกว่า	4	3	2	1			
8	นักเรียนที่มีพื้นฐานภาษาจีนมาก่อนจะอ่านภาษาญี่ปุ่นได้ดีกว่า	4	3	2	1			
9	นักเรียนที่มีพื้นฐานภาษาจีนมาก่อนจะเขียนภาษาญี่ปุ่นได้ดีกว่า	4	3	2	1			
10	นักเรียนที่มีพื้นฐานภาษาจีนมาก่อนจะจำความหมายภาษาญี่ปุ่นได้ดีกว่า	4	3	2	1			
11	คนที่วาดรูปเก่งจะเรียนคันจิได้เก่ง	4	3	2	1			
12	การเรียนอ่านเขียนคันจิเป็นอุปสรรคในการเรียนภาษาญี่ปุ่น	4	3	2	1			
13	การเรียนคันจิต้องเรียนกับเจ้าของภาษาจึงจะดีที่สุด	4	3	2	1			
14	การเรียนอ่านคันจินั้นสนุก	4	3	2	1			
15	การเรียนเขียนคันจินั้นสนุก	4	3	2	1			
16	ถ้าตั้งใจเรียนอย่างเต็มที่ก็สามารถประสบความสำเร็จในการอ่านเขียนคันจิ ได้	4	3	2	1			
17	การเรียนคันจิจะช่วยเพิ่มประสิทธิภาพในการเรียนภาษาญี่ปุ่น	4	3	2	1			
18	ผู้หญิงจะเรียนคันจิได้ดีกว่าผู้ชาย	4	3	2	1			
19	การอ่านเขียนคันจิได้จะทำให้คนรอบข้างยกย่องชมเชยทั้งในที่ทำงานและ โรงเรียน	4	3	2	1			
20	คำศัพท์ที่เขียนด้วยตัวคันจิจะเข้าใจได้ง่ายกว่าเพราะสามารถเดาความหมาย จากตัวอักษรได้	4	3	2	1			
21	ครูควรใช้วิธีการสอนคันจิหลาย ๆ แบบ	4	3	2	1			

		เห็นด้วย อย่างยิ่ง	เห็นด้วย	ไม่เห็น ด้วย	ไม่เห็น ด้วยอย่าง ยิ่ง								
22	ถ้าไม่รู้คันจิจะไม่เข้าใจวัฒนธรรมญี่ปุ่นได้อย่างสมบูรณ์	4	3	2	1								
23	ถ้าอ่านเขียนคันจิได้ก็มีโอกาสได้งานดี ๆ	4	3	2	1								
24	ถ้าสามารถอ่านเขียนคันจิได้ก็จะปรับตัวเข้ากับสังคมของชาวญี่ปุ่นได้ง่าย ขึ้น	4	3	2	1								
25	การเรียนคันจิคือการเรียนด้านคำศัพท์เป็นหลัก	4	3	2	1								
26	ครูควรจะอธิบายความหมายและที่มา ฯลฯ ของคันจิตัวใหม่โดยละเอียด	4	3	2	1								
27	ครูควรแนะนำแหล่งการเรียนรู้เช่น หนังสือ เว็บไซต์ ฯลฯ และกลยุทธ์ใน การเรียนคันจิให้นักเรียน	4	3	2	1								
28	ครูของข้าพเจ้าชอบสอนการอ่านเขียนคันจิให้ข้าพเจ้า	4	3	2	1								
29	คันจิสามารถเรียนเองได้โดยไม่ต้องมีครูสอน	4	3	2	1								
30	การเรียนคันจิต้องฝึกฝนและทบทวนอยู่เสมอ	4	3	2	1								
31	ครูควรให้การบ้านและแบบฝึกหัดแก่นักเรียน	4	3	2	1								
32	ประเทศไทยมีความสัมพันธ์กับประเทศญี่ปุ่นทางด้านวัฒนธรรม การเมือง และเศรษฐกิจ จึงจำเป็นต้องเรียนคันจิ	4	3	2	1								
33	การอ่านคันจิได้สำคัญกว่าการเขียนคันจิได้	4	3	2	1								
34	ครูควรมีเกม หรือทำกิจกรรมในชั้นเรียนเพื่อให้ชั่วโมงเรียนคันจิน่าสนใจ ยิ่งขึ้น	4	3	2	1								
35	การเรียนเขียนคันจิในภาษาญี่ปุ่น ง่ายกว่าการสะกดคำศัพท์ในภาษาอื่น ๆ (เช่น ภาษาอังกฤษ, ฝรั่งเศส ฯลฯ)	4	3	2	1								
36	ปัจจุบันไม่จำเป็นต้องเรียนเขียนคันจิมาก เพราะมีการใช้เครื่องพิมพ์แบบ ญี่ปุ่น (Word processor) และคอมพิวเตอร์เข้ามาแทน	4	3	2	1								
37	เวลาเรียนคันจิต้องจำเสียง On (เสียงอ่านแบบจีน) เป็นสำคัญ	4	3	2	1								
38	เวลาเรียนคันจิต้องจำเสียง Kun (เสียงอ่านแบบญี่ปุ่น) เป็นสำคัญ	4	3	2	1								
39	ข้าพเจ้าไม่ชอบเรียนการอ่านคันจิ	4	3	2	1								
40	ข้าพเจ้าไม่ชอบเรียนการเขียนคันจิ	4	3	2	1								
41	การเรียนคันจิสำคัญมาก	4	3	2	1								
42	คันจียากมาก	4	3	2	1								
A	<p>กรุณาเรียงลำดับหัวข้อด้านล่างตามความสำคัญในการเรียนคันจิที่ท่านคิด (ให้ <u>4 ลำดับมากที่สุด</u> และ <u>1 ลำดับน้อยที่สุด</u>)</p> <p>ตัวอย่างเช่น</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ความหมาย</th> <th>เสียงอ่านแบบญี่ปุ่น (Kun)</th> <th>เสียงอ่านแบบจีน (On)</th> <th>ลำดับเส้นในการเขียน</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					ความหมาย	เสียงอ่านแบบญี่ปุ่น (Kun)	เสียงอ่านแบบจีน (On)	ลำดับเส้นในการเขียน	2	4	3	1
ความหมาย	เสียงอ่านแบบญี่ปุ่น (Kun)	เสียงอ่านแบบจีน (On)	ลำดับเส้นในการเขียน										
2	4	3	1										
	ความหมาย	เสียงอ่านแบบญี่ปุ่น (Kun)	เสียงอ่านแบบจีน (On)	ลำดับเส้นในการเขียน									

กรุณา <input type="radio"/> หัวข้อที่ตรงกับกลยุทธ์ในการเรียนคันจิของท่าน									
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">เสมอ</td> <td style="width: 25%;">บ่อย</td> <td style="width: 25%;">บางครั้ง</td> <td style="width: 25%;">ไม่เคย</td> </tr> </table>						เสมอ	บ่อย	บางครั้ง	ไม่เคย
เสมอ	บ่อย	บางครั้ง	ไม่เคย						
		เสมอ	บ่อย	บางครั้ง	ไม่เคย				
1	พยายามเชื่อมโยงคันจิตัวใหม่ที่เรียน กับตัวคันนะหรือคันจิที่เคยเรียนไปแล้ว	4	3	2	1				
2	พยายามใช้ตัวคันจิตัวใหม่ที่เรียน (ในประ โยค, เรียงความ) ให้มากที่สุด	4	3	2	1				
3	แบ่งกลุ่มคันจิที่เรียนไปแล้วตามรูปร่าง	4	3	2	1				
4	แบ่งกลุ่มคันจิที่เรียนไปแล้วตามความหมาย	4	3	2	1				
5	แบ่งกลุ่มคันจิที่เรียนไปแล้วตามเสียงอ่านแบบจีน (On-Yomi)	4	3	2	1				
6	เชื่อม โยงคันจิตัวใหม่ที่เรียนเข้ากับภาษาอื่นที่คุ้นเคย (เช่น ภาษาไทย, ภาษาอังกฤษ ฯลฯ)	4	3	2	1				
7	หากพบคันจิที่ไม่รู้จักจะเปิดพจนานุกรมดูทันที	4	3	2	1				
8	ใช้ความสัมพันธ์ระหว่างเสียงและภาพเพื่อช่วยจำคันจิตัวใหม่	4	3	2	1				
9	จดจำตำแหน่ง (หน้ากระดาษหรือสถานที่) ที่พบเห็นคันจินั้นเป็นครั้งแรก	4	3	2	1				
10	ใช้บัตรคำศัพท์ช่วยจำคันจิ	4	3	2	1				
11	จำลำดับเส้นการเขียนคันจิตัวใหม่ที่เรียน	4	3	2	1				
12	เมื่อเรียนคันจิตัวใหม่ จะจดเรียงเป็นรายการ พร้อมทั้งจดตัวอย่างคำศัพท์ด้วย	4	3	2	1				
13	ทบทวนคันจิที่เรียนไปแล้วเสมอ ๆ	4	3	2	1				
14	จำทั้งเสียง On และ Kun ของตัวคันจิใหม่ที่เรียนไปพร้อม ๆ กัน	4	3	2	1				
15	ไม่จำคันจิเป็นตัวเดี่ยว ๆ แต่จะจำเป็นคำศัพท์	4	3	2	1				
16	จำคันจิที่เรียนใหม่จากรูปร่าง	4	3	2	1				
17	จำคันจิที่เรียนใหม่โดยเขียนซ้ำไปซ้ำมา	4	3	2	1				
18	พยายามมองหาคันจิที่เรียนแล้วตามแผ่นป้าย หนังสือ นิตยสารหรือสถานที่ต่าง ๆ	4	3	2	1				
19	พยายามอ่านข้อความที่มีคันจิอยู่ด้วยหลาย ๆ ครั้ง เพื่อจะได้จำรูปร่างและเสียงอ่านคันจิได้	4	3	2	1				
20	จำคันจิโดยการอ่านออกเสียงดัง ๆ ในขณะที่เขียน	4	3	2	1				
21	ใส่คำอ่านคันจิ (ตัว Furigana) ด้านข้างหรือด้านบนของคันจิที่ไม่คุ้น	4	3	2	1				
22	แต่งเรื่องราวขึ้นมาเพื่อช่วยในการจำคันจิ	4	3	2	1				
23	หากเป็นคันจิที่ไม่คุ้นจะใช้บริบท (ข้อความรอบข้าง) เพื่อช่วยคาดเดาความหมาย	4	3	2	1				
24	สังเกตความแตกต่างระหว่างตัวคันจิที่คล้ายกัน	4	3	2	1				
25	คิดทบทวนวิธีเรียนคันจิและประเมินผลการเรียนรู้ของตน	4	3	2	1				
26	ใช้กลยุทธ์ในการเรียนรู้คันจิตามที่ครูสอน	4	3	2	1				
กลยุทธ์อื่นในการเรียนคันจิที่ท่านใช้ (ถ้ามี)									
คุณมีความรู้สึกอย่างไรกับการเรียนคันจิ โปรดเขียนแสดงความคิดเห็นได้อย่างอิสระ									
ขอบคุณในความร่วมมือของท่านเป็นอย่างยิ่ง									